

令和5年度 事業報告

I.法人運営の状況

1. 社協運営

美咲町社会福祉協議会は、「全ての地域住民が、住み慣れた地域で安心して暮らせるようお互いがささえあっていく地域社会を築く」の基本理念のもと、子どもから高齢者、障がいの有無などに関わらず、誰もが安心して暮らすことができる「地域共生社会」の実現を目指し、地域住民一人ひとりがともに支え合い、互いの人権を尊重し、いきいきと暮らし続けられる福祉のまちづくりの推進を図るため、日々事業・活動に努めてきました。

全国的な課題である、少子・高齢化や人口減少、頻発する災害対応、コロナ禍の影響も含む生活困窮世帯への対応をはじめ、ヤングケアラー、8050問題など、地域福祉活動による支援の重要性がますます高まる中、美咲町社会福祉協議会の役割である地域の身近な生活課題に気づき、課題解決につなげられるよう、地域のニーズを的確に捉えて包括的に支援する「重層的支援体制整備事業」を意識した支援・活動に努め、美咲町社会福祉協議会ならではの柔軟な対応、地域に寄り添った対応を図ってきました。これらの取組みを推進するうえで、職員の経験値や対応力を高め、使命や役割、活動原則を改めて役職員と共有を図る中で、地域課題に対応できる体制の強化にも努めました。

在宅福祉サービスでは、地域福祉推進を目的とする美咲町社会福祉協議会として、在宅福祉サービスを提供し、「地域共生社会」の実現につながる施設・事業展開となるよう、社協内・各種団体・行政等と連携を図りながら、安全・安心かつ安定した事業運営となるよう事業を精査・協議・調整し積極的な事業運営に取り組みました。

2. 役員会等の開催状況

(1) 理事会(理事 12名)

開催日	場所	主要付議事項
○第1回 令和5年 6月2日(金) 理事11名出席 監事 2名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議案】 ・令和4年度事業報告 ・令和4年度一般会計収支決算 ・令和5年度一般会計収支補正予算 ・「理事及び監事選任候補者の推薦」について ・「評議員選任候補者の推薦」について ・定時評議員会の開催日時及び議題について ・評議員選任・解任委員会の開催日時及び提出議題について 【報告】 ・会長の職務執行状況について ・第12回美咲町社会福祉大会について
○第2回 令和5年 6月20日(火) 理事 8名出席 監事 2名出席	美咲町中央保健センター 大講義室	【議案】 ・会長の選任について ・副会長の選任について ・副会長の選任について
○第3回 令和5年 8月18日(金) 理事10名出席 監事 2名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議案】 ・令和5年度一般会計収支補正予算(第2回) ・第12回美咲町社会福祉大会について ・第12回美咲町社会福祉大会における表彰者について ・管理者等の人事について ・第2回評議員会の開催日時及び議案について 【報告】 ・評議員会での質疑に対する回答について
○第4回 令和5年 11月8日(水) 理事12名出席 監事 2名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議案】 ・令和5年度一般会計収支補正予算(第3回) ・第3回評議員会の開催日時及び提出議案について 【報告】 ・会長の職務執行状況について ・中間監査報告について ・第12回美咲町社会福祉大会について
○第5回 令和6年 1月23日(火) 理事10名 監事 1名	中央ふれあいセンター 2階会議室	【協議】 ・介護保険事業所(通所・訪問・特養)の今後の経営について

<p>○第6回 令和6年 3月14日(木) 理事11名出席 監事1名出席</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度一般会計補正予算(第4号) ・権利擁護センター受託事業及び生活困窮者受託事業の受託解除について ・令和6年度事業計画 ・令和6年度一般会計予算 ・理事選任候補者の推薦について ・管理者の人事について ・3月度評議員会の開催日時及び議題について
--	-----------------------------	---

(2)評議員会(評議員 15名)

開催日	場所	主要付議事項
<p>○第1回(定時評議員会) 令和5年 6月19日(月) 評議員13名出席 理事2名出席 監事2名出席</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告について ・令和4年度一般会計収支決算について ・令和5年度一般会計収支補正予算について <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第12回美咲町社会福祉大会について
<p>○第2回 令和5年 8月28日(月) 評議員14名出席 理事3名出席 監事2名出席</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度一般会計収支補正予算(第2回) <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第12回美咲町社会福祉大会について ・管理者等の人事について ・評議員会での質疑に対する回答について
<p>○第3回 令和5年 11月17日(金) 評議員13名出席 理事1名出席 監事2名出席</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度一般会計収支補正予算(第3回) <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間監査報告について ・第12回美咲町社会福祉大会について
<p>○第4回 令和6年 3月25日(月) 評議員14名出席 理事3名出席 監事1名出席</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度一般会計補正予算(第4号) ・令和6年度事業計画 ・令和6年度一般会計予算 ・理事の選任について <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者等の人事について ・権利擁護センター受託事業及び生活困窮者受託事業の受託解除について

(3) 監 査(監事 2名)

開催日	場 所	主要付議事項
令和4年度棚卸監査 令和5年 4月4日(火) 監 事 2名出席	中央地区福祉センター 美咲町中央保健センター 旭地区福祉センター 柵原地区福祉センター	・10月～3月下半期の各センター内事業所等の備品管理及び小口現金、寄付金、預かり金、切手管理について、棚卸等監査を実施
令和4年度 監査 令和5年 5月23日(火) 監 事 2名出席 事務局職員3名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	・令和4年度事業報告書の監査 ・令和4年度資金収支計算書の監査 ・令和4年度貸借対照表の監査 ・令和4年度財産目録の監査 ・その他
令和5年度中間棚卸 監査 令和5年 10月2日(月) 監 事 2名出席	中央地区福祉センター 美咲町中央保健センター 旭地区福祉センター 柵原地区福祉センター	・4月～9月上半期の各センター内事業所等の備品管理及び小口現金、寄付金、預かり金、切手管理について、棚卸等監査を実施
令和5年度中間監査 令和5年 11月1日(水) 監 事 2名出席 事務局職員2名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	・4月～9月上半期の法人運営、地域福祉事業、介護保険事業等の業務執行状況について及び予算の執行状況について監査を実施

(4) 評議員選任・解任委員会(選任・解任委員 5名)

開催日	場 所	主要付議事項
○第1回 令和5年 6月9日(金) 委 員 5名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議 案】 ・評議員の選任について

(5) 職員研修等

開催日	場 所	研修内容等
新人職員研修会 (1日目) 令和5年 6月27日(火) 職 員29名出席 行 政 9名出席 発表者 3名出席 役 員 1名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	・社会福祉協議会について ・地域福祉事業について ・地域包括支援センターについて ・重層的支援事例

新人職員研修会 (2日目) 令和5年 7月14日(金) 職員29名出席 行政10名出席 発表者 5名出席 役員 1名出席	美咲町中央保健センター 大講義室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターについて ・居宅介護支援事業所について ・訪問介護事業所について ・通所介護事業所について ・地域密着型特別養護老人ホームについて 「重層的支援体制整備事業について」 講師:美作大学 特任教授 小坂田 稔 氏
---	---------------------	--

(6)視察研修(受入)

開催日	場所	研修内容等
矢掛町社会福祉協議会役職員研修 令和5年 8月29日(火) 矢掛町12名参加 社協 5名出席 岡山県生涯学習センター 1名参加	美咲町中央保健センター 大講義室	<ul style="list-style-type: none"> ・美咲町社会福祉協議会が実施する障がい者活動支援事業について 発表者:地域福祉課 課長 小林 奈緒
早島町包括ケア懇話会視察研修会 令和5年 11月29日(水) 早島町12名参加 社協 5名出席 行政 2名出席	美咲町中央保健センター 講義室	<ul style="list-style-type: none"> ・美咲町における小地域ケア会議の取組み 発表者:地域福祉課 課長 小林 奈緒

(7)美咲町社会福祉法人等連絡協議会“あったかこころネットみさき”

開催日	場所	主要付議事項
○第1回役員会 令和5年 7月21日(金) 4法人 4名出席 事務局 2名出席	美咲町中央保健センター	【協議】 <ul style="list-style-type: none"> ・役員の変更について ・令和4年度事業報告について ・令和4年度決算報告について ・令和5年度事業報告について
○第1回市町村域における社会福祉法人ネットワーク連携・協働促進会議 令和5年 6月15日(木) 3名出席(会長、事務局)	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館(きらめきプラザ)3階	【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人ネットワークの現状と今後目指したいネットワークの姿 ・各ネットワークからの取組紹介 ・グループワーク・意見交換

<p>○第2回市町村域における社会福祉法人ネットワーク連携・協働促進会議 令和6年 2月9日(金) 1名出席(事務局)</p>	<p>岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館(きらめきプラザ)2階</p>	<p>【内 容】 ・活動の先にある世帯や地域の困りごとを考える視点についての学び “さくら福祉ネット宿場町やかげ”の取組紹介 ・活動の先にある世帯や地域の困りごとを考える視点をもとに来年度の目標づくりに向けて、活動を良くするポイント・コツについて “美作お助け隊”取組紹介 ・各グループワーク、意見交換</p>
---	---	---

◎職員体制

- ・事務局長 1名
- ・総務課長 1名
- ・総務課職員 3名

Ⅱ. 地域福祉事業

(1) 地域福祉活動の推進

1. 小地域ケア会議、小地域福祉活動の促進

日常生活圏のなかでの見守り・声かけ活動、地域での福祉活動を通して発見された生活課題や困りごとについて話し合い、解決策を見出すための仕組みづくりの促進・充実、さらに解決に向けての活動が進められるように、地域住民、美咲町、地域包括支援センター及び介護保険事業所の連携に努めました。

(1) 小地域ケア会議開催状況

①開催単位:72/81自治会 開催率89%

②令和5年度新規立ち上げ地域

【藤田上自治会・藤田下自治会・中藤田自治会・栗尾自治会】合同開催、上間自治会、原田第一自治会、原田二区自治会 計7自治会

小地域ケア会議開催回数		
中央地区(24自治会)	柵原地区(42自治会)	旭地区(15自治会)
22自治会	35自治会	15自治会
上半期(4月～9月)		92回
下半期(10月～3月)		124回
年間合計216回参加		

③構成メンバー:自治会長、民生委員児童委員、常会長、老人クラブ、愛育委員、栄養委員、ボランティア、生活支援サポーター、サロン代表者、防災士、消防団、地域包括支援センター職員、美咲町社協職員等(地域ごとに構成メンバーを決定しています。)

④開催頻度:3か月に1回、4か月に1回

小地域ケア会議開催が難しいところには、サロン活動、コロバン体操、サポーター会合等に出席し情報共有・連携の強化に努めました。また、柵原地域については民生委員地区会(北和気地区・南和気地区・吉岡地区・本庁地区・飯岡地区)に参加し情報共有、連携の強化に努めました。(開催回数に含む。)

(2) 地域の中で行われる会議等への参加

地域の中での自治会総会、民生委員支部会(中央・旭・柵原)、協働のまちづくり会議、防災会議等への参加や自治会長をはじめとした地域の役員の方と情報共有を行い情報収集に努めました。

※小地域ケア会議216回・民生委員総会・支部会12回・協働のまちづくり会議47回・サロン・通いの場62回の合計337回地域の会議等に参加しています。

※小地域ケア会議の開催における相談件数:56件

※7月5日(水)総社市阿曾地区の民生委員・福祉委員の皆さん27名が打穴まちづくり協議会「やってみかいうたの」へ視察研修に来られました。総社市社会福祉協議会との連絡調整を行いました。

(3) 赤い羽根小地域ケア会議推進助成事業～みんなで地域づくりを応援しよう～

小地域ケア会議の取組みの中で、地域共生社会の実現に向けた地域課題の解決に向けた取組みを美咲町内の団体より公募方式で募集し、予算の範囲内(1団体3万円)で助成を行いました。

※助成対象:美咲町内で小地域ケア会議に取り組んでいる団体・これから取り組む団体であり、その小地域ケア会議の協議の中から出てきた地域課題の解決に取り組む団体

①助成実績

中央地区(24自治会)	柵原地区(42自治会)	旭地区(15自治会)
16自治会	27自治会	13自治会
合計56自治会		

②小地域福祉活動報告会の開催

小地域ケア会議について再確認するとともに、各地域の取り組み発表を通して、情報共有や活動の重要性の再確認及び活性化につなげることを目的に報告会を行いました。

※生活支援体制整備事業の美咲町生活支援サービス検討会(2層協議体)と合同開催

実施日	対象/参加者数	地区	地域	報告内容
令和6年 3月20日(水)祝	小地域ケア会議の 構成員・2層協議体 委員・他/計82名	旭	北	倭文西まちづくり協議会と小地域 ケア会議
		柵原	塚角	安全・安心のむらづくり ～人の和とふれあいの里つかつ の～
		柵原	安井	安心・安全な地域づくりを目指して

2. 小地域福祉活動の支援

子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、地域で暮らす誰もが身近な場所で、気軽に集い、語り、ふれあい交流のできる居場所づくりや生きがいづくりを支援し、これらの機会を通して、見守り・声かけの意識の醸成にも努め、お互いに助け、助けられる関係づくりにも努めました。

(1) ふれあいサロンの立ち上げ支援・運営支援

ふれあいサロンを運営している代表の方へ向けて、“サロン助成金の使用用途”と“レクリエーショングッズの啓発”を記載した「ふれあいサロンのヒント集パート3」を作成し、これからのサロン活動に向けての後方支援と意識啓発に努めました。また、ふれあいサロン活動の運営支援のための助成を行い、ふれあい交流促進支援を行いました。

ふれあいサロンの活動状況

	地区名	サロン数	延べ参加者数	備考
中央 (45)	加美地区	16	1,261人	
	三保地区	13	1,456人	
	打穴地区	8	486人	
	大井和地区	7	481人	
	男性サロン	1	0人	
柵原 (40)	北和気地区	9	1,154人	
	吉岡地区	12	1,627人	
	南和気地区	7	738人	
	本庁地区	8	1,511人	

	飯岡地区	4	687人
旭 (22)	倭文西地区	4	327人
	西川地区	5	1,104人
	堺和地区	8	1,240人
	江与味地区	4	650人
	手芸クラブ	1	209人
	子育てサロン	2	736人
	障がい児者支援サロン	1	12人
	笑いのサロン和(難病)	1	97人
	計	111	13,776人

①令和5年度新規立ち上げサロン:和田北自治会

②ふれあいサロンの継続支援:年間合計30回参加/運営に関する相談:32件

③ふれあいサロンヒント集パート3の配布【内容(A4用紙 8ページ表紙含む)】

1. ふれあいサロン助成金の使用用途
2. レクリエーショングッズの啓発
3. 美咲流コロバン体操2020の啓発

④美咲警察署との協働(特殊詐欺被害防止ソングの制作)

「特殊詐欺被害防止ソング」は、美咲警察署が、歌詞を地域の住民から募集するなどして制作されました。歌詞の募集に社会福祉協議会も協力をさせていただきました。見事、打穴下サロンの黒瀬文子さんが考案された歌詞が選ばれ、「うまい話があったら詐欺ではないかと疑ってほしいという思いから『思い出そう それは詐欺』という歌詞を繰り返し入れられています。

⑤ふれあいサロン代表者研修会の開催

ふれあいサロンと通いの場を総称して『つどいの場』とし、それぞれの代表者に一堂に会していただき、活動の情報交換・課題解決に向けた情報提供を目的として研修会を開催しました。また、サロンに来てもらえるボランティア団体や個人の紹介、レクリエーショングッズの周知などを行い、サロン活動の活性化につながるよう努めました。

【”地域の集いの場”合同研修会(上期)】

ふれあいサロンと通いの場を、「地域のつどいの場」として、それぞれの代表者に一堂に会していただき、助成金の配布及びフレイル予防に関する研修会を実施しました。

実施日	地区	参加者数	内容
令和5年 6月8日(木)	3地区 合同	100名	① ムジカなかよし 様による歌や演奏 ② 「地域フレイル予防の取り組み」 講師:美作大学社会福祉学科 教授 小坂田 稔 氏 ③ 助成金等についての事務連絡、相談会 ④ 通いの場代表者同士の交流会

【”地域の集いの場”合同研修会(下期)】

実施日	地区	参加者数	内容
令和6年 2月27日(火)	3地区 合同	93名	① 「地参地笑でいつまでも健康に」 講師:津山市健康増進課 安本 勝博 氏 ② 連絡事項など

(2)新しい居場所づくりへの支援と継続支援

現在、地域にある居場所は参加者が限定されており、多様な人々が参加でき、かつ地域ニーズ

に即した新しい居場所の創出を住民と協働して行いました。令和5年度は新しく「みんなで食堂」を開催しました。また、ワンデイカフェやコロバン公民館等への相談・助言も行いました。

3. 障がい者支援事業

(1) みしゃモンカレッジ2023

きんちやい☆多おーぶんカレッジ アート教室～わたしの世界～in みさき

芸術活動を通して、障がいのある方が主体となって地域で活動していける「場」と地域住民と交流できる「場」を創出し、障がいのある方が生きがいのある生活を送れるよう地域の方々と連帯して自立した社会参加を行えるよう事業を実施しました。今年度は、みらいちゃれんじ～為せば成る・挑戦・継続は力なり～と同日開催し、みらいちゃれんじに参加しやすくするために、お試し体験生として募集しました。

また、完成した作品は、「みんなのアート展示会～わたしの世界 in みさき～」にて巡回展示を行い、日頃の活動意欲の向上にも繋げる支援を行いました。[P. 16参照](#)

(2) みしゃモンカレッジ2023 みらいちゃれんじ～為せば成る・挑戦・継続は力なり～

(1期生6名・2期生6名・3期生2名・4期生2名・5期生2名 計18名)※令和2年・3年度はコロナ禍のため中止

障がいのある方が主になって地域で活動していける「場」を、本人や家族だけでなく地域住民、障がい者福祉施設、行政と連携し、障がいのある方々に多くの夢をもってもらい、いきいきとした生活を送ってもらえることを目的に、地域で「学べる場」、「体験できる場」として3回シリーズでみしゃモンカレッジを開講しました。

また、各種メディアでも、みしゃモンカレッジを取り上げていただき、様々な媒体を活用し、啓発にも努めました。さらに、全国社会福祉協議会の機関紙 NOMA(令和4年3月号)にも取り組みが掲載され、社協最前線として注目されました。その機関誌掲載をきっかけに、文部科学省が取り組みを評価していただき、令和5年度開催の全国福祉教育フォーラムの障がい者支援の取り組みとして、事例を取上げていただき、また、岡山県生涯学習センターの機関紙にも掲載していただきました。

日 時	【特別編】 令和5年11月25日(土) 10:00～12:00	【1日目】 令和6年2月25日(日) 13:30～15:30	【2日目】 令和6年3月9日(土) 13:30～16:00
場 所	北公民館	松岡建築	旧打穴小学校体育館
参加者	カレッジ長:1名、カレッジ生:9名、カレッジサポーター:11名、講師1名、地域ボランティア2名、社協職員5名 <u>合計29名</u>	カレッジ生:9名、カレッジサポーター:10名、地域ボランティア2名、講師1名、社協職員4名、報道関係1名 <u>計27名</u>	カレッジ生:13名、カレッジサポーター:13名、お試し体験生17名、地域ボランティア4名、カレッジ生家族4名、講師1名、職員5名、報道関係3名、さくらの実職員4名 <u>計64名</u>

内 容	
【特別編】	『みんなでカレッジ長を元気にする会』 松岡カレッジ長が体調不良との知らせを受け、みんなでカレッジ長を元気に

	<p>する会を企画しました。カレッジ生とカレッジサポーターで元気メッセージを作成し、みんなで松岡さん宅に訪問し、元気メッセージと歌をプレゼントしました。</p> <p>体験:誰でも即名人!! 元気メッセージ 講師:日神山 千代子 氏</p>
【1日目】	<p>●4期生・5期生入学式 体験:大工の匠 学び:大工の心得 かなづちを使って、世界で1つの椅子を作りました。 講師:松岡建築 松岡親佐 氏</p>
【2日目】	<p>体験:太鼓の達人 学び:太鼓のいろは 講師:元ブルーハーツ梶原 徹也 氏 オリジナルのバケツ太鼓を作り、リズム遊びをして楽しみました。また、1人ひとりドラムも演奏させていただきました。</p> <p>●4期生・5期生卒業式 ●1・2・3期生修了式</p>
移動手段	町の障がい者外出支援の黄福タクシーを活用(イベントタクシー)

(3) みしゃモンカレッジ 2023 きんちやい☆多おーぶんカレッジ「笑顔のお届け便」

多くの住民に「赤い羽根共同募金」を啓発するために、赤い羽根商品を障がい者福祉施設・団体に作製していただき、地域で行われる行事等で募金活動を行い、障がい者福祉の向上及び住民同士の支えあい活動を地域全体で盛り上げていくとともに、事業や障がい者施設・団体の啓発に努めました。また、障がいのある方と地域住民が触れ合う場として「笑顔のお届け便出店」を行いました。 **募金額:162,448円**

●各障がい者福祉施設や作業所等が提供する商品を、地域住民が募金するごとに、各種団体が設定する割合が赤い羽根共同募金となる。みしゃモンシール(1シート100円)を商品に貼る。

参加事業所・団体	商品	実施場所
・誕生寺支援学校・さくらの実・ワークみさき・メンタル柵原・さやかなる苑・ほっとスペースすみれ・美咲町障がい者ネットワーク	パン・コーヒー・クッキー・ポップコーン・焼きそば・おこわ・赤飯・フランクフルト・焼き物・アクセサリー・ドライフラワーなど	<p>【笑顔のお届け便出店】</p> <p>日時:令和5年12月6日(水)～12月7日(木) (2日間)</p> <p>時間:11:00～13:00</p> <p>場所:美咲町役場第二分庁舎 障害者ネットワーク共催(協力)</p>

(4) 当事者団体の活動支援

障がい児者、介護者家族等の当事者組織団体の活動支援、連携を図っていくことを目的に、活動支援に取り組み、在宅介護者・障がい児者本人の社会参加の場、勉強できる場、精神的ゆとりを生み出す機会づくりなどあらゆる面での支援につながるよう努めました。

【活動支援状況】

<p>美咲町介護者の会</p>	<p>認知症の方や要介護の方で介護が必要な高齢者、障がい等により在宅で介護をしている人、介護を経験(卒業)した人、介護に関心のある人が集まり、お互いの悩みや体験を共有し、また、体験や情報を分かちあう介護者相互の交流の会です。 開会日:毎月第1木曜日開催 会 場:中央公民館・柵原文化センター・旭町民センター他 【社協職員の活動参加日】 9月7日(木)・10月5日(木)</p>	
<p>笑いのサロン和<small>(なごみ)</small></p>	<p>病を抱えている本人や支えている家族が、誰にも相談ができず自分で抱え込んでしまった時の心のよりどころ(居場所)として、「気軽に立ち寄れて話や相談ができる場」を目指して活動をしています。 開催日:毎月第4水曜日 13:30～15:30 会場:町内各所(中央公民館等) 【社協職員の活動参加日】 ・10月25日(水)レクリエーションと体操 他</p>	
<p>レインボータートル (本人の会)</p>	<p>○会長・副会長会 4月24日・8月17日 9月14日・1月12日 3月6日 ○小委員会 10月15日 12月10日 ○育成会役員会 7月2日・11月12日 ○育成会県大会 in 高梁 11月26日</p>	<p>○活動内容 心身に障がいがあっても、“自分らしく生きていこう”“自らの力を発揮していこう”という思いから、レインボータートル(本人の会)を立ち上げ、仲間同士でレクリエーション活動、映画鑑賞や買い物、また、カラオケ、ボーリング大会等、自分たちがやりたいことを企画実行し、楽しく活動をしています。また、美咲町社協等の事業運営にも協力・支援を行い、積極的に地域交流活動も行っています。 副会長が手をつなぐ育成会岡山県大会本人大会(高梁会場)の司会を務めました。</p>

(5) 障害者ネットワークとの連携

障がい者支援の各種関係機関団体と連携し、障害者のニーズに即した支援や居場所づくりを行うため、障がい児者に関する下記の事業等に積極的に参画しました。

- ①5月18日(木)の本人の主張大会に参画しました。(障害者ネットワーク共催)
- ②9月28日(木)のあいサポーター養成講座に参画しました。(障害者ネットワーク共催)

4. ボランティア活動の推進

住民のボランティア活動への参加促進を図り、地域課題に対して「何か自分にできることはないか」という住民の気持ちを形にできるきっかけづくり・機会づくりとして、人材育成のためのボランティア養成講座、ボランティア活動の情報提供、ボランティアコーディネート、ボランティア保険加入等の推進に努めました。

[美咲町ボランティアセンターの取組み]

(1) あったか心バンク

美咲町内で生活にお困りの皆さまへ、地域の皆さまから提供していただいた物品等をお届けしました。寄付を受けた際には、社協だよりにてお礼を掲載し、その記事を見て寄付をしたいと問い合わせをくださった方も多いです。その他、「みんなで食堂」開催時には、野菜募集のチラシを作成し啓発を行いました。

①提供実績

月	件数	内 容	提 供 先	備 考
4月	1件	自転車	60代男性	
5月	1件	冷蔵庫・電灯・カーテン・ガスコンロ等	70代男性	ぷらっと事業連携
6月	2件	①食料品 ②冷蔵庫・洗濯機	①50代男性 ②30代女性(5人世帯)	
7月	1件	食料品	30代女性(5人世帯)	
8月	4件	①洗濯機 ②食料品 ③α米(小山自治会より寄付分)	①50代男性 ②80代女性(2人世帯) ③50代男性 2名	洗濯機に関しては ぷらっと事業連携
10月	1件	IH コンロ・鍋	40代男性	
11月	1件	冬物衣類	40代男性	
12月	1件	歯ブラシ・コップ・カミソリ・衣類等	80代男性	
1月	1件	ベッド	80代男性	ぷらっと事業連携
3月	1件	洗濯機・冷蔵庫・電灯 等	40代女性(3人世帯)	

総提供件数:14件

②受入実績

【家電・介護用品等】

月	件数	内 容
4月	2件	カーテン・照明器具・暖房器具・扇風機・空気清浄機 等
5月	3件	炊飯器・自転車・冷蔵庫・調理家電・介護用品 等
6月	2件	寝具・カーテン
7月	3件	冷蔵庫・調理家電・タオル
8月	1件	洗濯機・調理家電・掃除機・子ども用衣服
9月	1件	暖房器具
10月	2件	暖房器具・冬物衣料・調理器具 等
11月	2件	調理家電・照明器具 等
1月	8件	暖房器具・寝具・調理家電 等
3月	2件	介護用品・照明器具 等
合計	26件	

【みんなで食堂(野菜等)受入実績】

	件 数	内 容	寄 付 者
12月	14件	白菜・大根・じゃがいも等の野菜 <u>合計 271個(軽トラ1杯分)</u> 米 雑貨(クリスマス飾り) フラワーアレンジメント	地域住民 おかやまコープ 吉備中央町社協
2月	11件	サツマイモ・ネギ・里芋等野菜 <u>合計 242個(軽トラ1杯分)</u> 小豆 4キロ おもち 69個 砂糖 1キロ お菓子 米	地域住民

※寄付を受けた野菜で、調理に使用しなかったものは参加者へ配布を行いました。

(2) 赤い羽根ポスターコンクール P. 24参照

(3) みんなのアート展示会～わたしの世界 in みさき～

赤い羽根共同募金の啓発の取組みである「赤い羽根手作り募金箱」、「赤い羽根ポスターコンクール」、芸術活動を通じて、障がいのある方と地域住民が地域で共に活動できる場として「障がい者アート教室」を行いました。こうした美咲町社協の事業に参加していただいた方の作品と個人の書・絵・本の作品を展示しました。地域住民に作品に込められた想いを知っていただくとともに作品から発せられるパワーを感じてもらい、想いをつなぐことに努めました。

日時 場所	①10月1日(日)13:00～15:30 美咲町社会福祉大会 ②11月3日(金)～11月5日(日) 柵原文化祭 ③2月22日(木)～3月7日(木) 9:00～17:00 柵原総合文化センター 玄関ホール ④3月14日(木)～3月24日(日) 10:00～18:00 旭図書館 ギャラリー ⑤4月1日(月)～4月12日(金) 9:00～17:00 亀甲郵便局
出展 内容	① 赤い羽根ポスター15点 ② 手作り募金箱 17点 ③ みしゃモンカレッジの作品(世界に一つだけのイス・オリジナルバケツ太鼓) ④ 個人の書・絵画・本 ⑤ 障がい者施設の作品

(4) 災害ボランティアに関する事業

①災害ボランティア養成講座

近年、自然災害で被災した地域では、社協が災害ボランティアセンターの運営にあたり、地域内外のボランティアと共に被災地の復旧・復興に向け被災者に寄り添った支援活動を行うことが一般化してきました。美咲町社協においても、いつ起こるかかわからない災害に備え、災害時に必要な被災者支援活動をオール美咲町社協で考えていく必要があることから令和5年度も講座を企画し実施しました。

日時	令和6年3月17日(日)13:30～15:30
場所	美咲町林業センター
参加者	町内外のボランティアに関心のある住民、市町村社協職員、町職員、防災士、消防団等 計60名 第1期～第8期128名(令和6年3月現在)
内容	災害に負けない支えあいの地域へ ～平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえて～
講師	講師:社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 水野 孝昭 氏

②他団体との連携強化

令和5年度は、市町村社会福祉協議会との連携を強化しました。

【吉備中央社会福祉協議会】

円城浄水場から基準値を上回る濃度の有機フッ素化合物が検出されたことを受けて10月19日～11月22日まで「吉備中央町災害ボランティアセンター」を開設されました。美咲町社協としても、ボランティアセンターに設置していただけるようメッセージボードの作成や白菜祭りでの白菜の販売等協力させていただきました。

【倉敷市社会福祉協議会】

第8期災害ボランティア養成講座の講師にお招きし、平成30年7月豪雨災害の経験を美咲町でご講演いただき、また、倉敷市の個別避難計画、避難行動要支援者登録等、お互いの市町の防災の取り組みの情報交換を行いました。

(令和3年度・令和4年度は、岡山県災害派遣福祉チーム DWAT・一般社団法人ピースポート災害支援センターとの連携を強化しました。)

③災害ボランティアセンター運営支援に関する協定

災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定(令和3年度 町と締結済)

近年、災害が頻発化・激甚化するなか、災害発生後、復旧・復興に向けた災害ボランティアの活動は重要になっており、災害ボランティアセンターが担う役割も大きくなっています。今後もさらに他団体とも災害時における連携協定の締結を進めます。

(5)シーズンボランティア2023

シーズンボランティア2023は、「“施設”ボランティア(施設でのボランティア体験)」と「“つ・く・る”ボランティア(季節を感じる作品を作るボランティア)」の2つを実施しました。

「“施設”ボランティア」と「“つ・く・る”ボランティア」の両方に参加し、ボランティア活動を頑張った生徒もおり、町内の施設にたくさんの素敵な季節を感じる作品を届けることができました。

また、施設からいただいたありがとうメッセージを冊子にまとめ、参加された生徒へ配布することで、直接会うことができなくても繋がりを築くことができました。

《参加生徒》

●【“施設”ボランティア】 中央中学校6名、柵原中学校2名、旭学園3名
津山工業高等学校2名 津山商業高等学校4名 津山東高等学校1名 美作高等学校3名
林野高校1名

合計22名

●【“つ・く・る”ボランティア】 中央中学校5名、柵原中学校3名、旭学園3名
津山東高等学校1名、美作高等学校3名、津山工業高等学校1名、林野高校1名

合計17名

《受入施設》

●【“施設”ボランティア】 白寿荘、中央かめっこ保育園、さくらの実、柵原西保育園、
柵原東保育園、ケアハウス百壽、旭保育園 合計7施設

●【“つ・く・る”ボランティア】 白寿荘、わかくさ児童クラブ、静香園、中央かめっこ保育園、さくらの実、中央ふれあいセンター、中央児童館、みさき福祉園、さやかなる苑、さつきの丘、ケアハウス百壽、柵原東保育園、柵原西保育園、美咲もたろうクラブ、エリシウム柵原、吉井川荘、柵原児童

館、かしのき荘、ふりーすたいるわくわく、美咲まめのき保育園、美咲町福祉の里あさひが丘、地域密着型特別養護老人ホームあさひが丘、旭児童館、十字園あさひデイサービスセンター、旭保育園
合計25施設

(6) 第5期ジュニアボランティア養成講座

毎年実施されている「シーズンボランティア」は、中・高生を対象とした施設ボランティアがほとんどであるため、対象となっていない小学生にも、ボランティアや社会福祉について学ぶ機会として、ジュニアボランティア養成講座を企画してきました。1期～4期まで実施してきましたが、小学生もさまざまなイベントや習い事があるために、参加者が年々減少傾向にあり、令和5年度は、子育て支援団体からヒアリングを行いました。講座としては未実施となりました。

令和6年度からは、社協自ら、子どもたちが集まる居場所に出向き講座を実施します。その後は、社協の事業や地域の活動に対して自主的に参加し、ボランティアとして活動してもらえるように取り組んでいきます。

(7) ボランティア活動のコーディネート状況

活動件数/活動者数	
福祉教育ボランティア	8件/3名
フラワーボランティア	8件/1名
読み聞かせボランティア	5件/1名

(8) ボランティア保険加入状況

種別	加入団体数	加入者数(被保険者数)
ボランティア活動保険	25団体	1,108人
ボランティア行事用保険	3団体	1,447人
送迎サービス補償	0団体	0人
福祉サービス総合補償	1団体	654人

5. 福祉教育の推進

人を思いやり、お互いに支えあい・助け合う心を育み、自分と違う立場の人と認め合い、人の気持ちに共感できる力や自分の考えを表現する力、考えを共有し実行につなげていく力等の「ともに生きる力」をつけていく意識の醸成に努めました。

(1) 学校における福祉教育の実践

日時	実施学校	対象	内容
令和5年 10月18日(水)	旭学園	8年生	① 旭学園8年生が総合学習の時間に考えた地域活性化提案企画に関して生徒と地域の大人と一緒に旭の活性化や旭の未来についてワークショップ形式で議論しました。 ※11月11日(日)学習発表会に参加

令和5年 10月24日(火)	旭学園 5名	7年生	② 旭学園7年生が学習した SDGs を旭の 今と未来に関して3グループに分かれ て発表されました。 「住み続けられるまちづくりを」「バリアフ リー(車いすでの移動等)」についての グループに参加し、助言しました。 ※11月11日(日)学習発表会に参加
令和6年 2月9日(金) 13:50~15:30	旭学園 15名	4年生	③ 聴覚障がいについて学ぼう! ゲストティーチャー:山本 修 氏 山本 知枝子 氏 講座:聴覚障がいについて 体験:手話で挨拶、指文字、手話以外のコ ミュニケーションについて
令和6年 2月13日(火) 13:50~15:30	旭学園 15名	4年生	④ 高齢者について学ぼう! 講師:社会福祉協議会職員 講座:高齢者の気持ちになって考えよう! 体験:高齢者疑似体験
令和6年 2月15日(木) 9:45~11:35 13:40~15:15	柵原東小学校 15名 美咲中央小学校 20名	3年生 4年生	⑤ 視覚障がいについて学ぼう! ゲストティーチャー:奥西 敦子 氏 体験:STT(サウンドテーブルテニス)体験 交流:児童が考えたゲームを実施 講座:視覚障がいとは ユニバーサルデザインについて
令和6年 2月21日(水) 10:35~12:15	美咲中央小学校 20名	4年生	⑥ 身体障がいについて学ぼう! 講師:社会福祉協議会職員 体験:車いす体験(校内車いす走行) 講座:ともに生きる~車いすを使っている人 について学ぼう~
令和6年 2月22日(木) 10:50~12:30	柵原東小学校 15名	3年生	⑦ 聴覚障がいについて学ぼう! ゲストティーチャー:山本 修 氏 山本 知枝子 氏 講座:聴覚障がいについて 体験:手話で挨拶、指文字、手話以外のコ ミュニケーションについて
令和6年 2月26日(月) 10:35~12:15	美咲中央小学校 20名	4年生	⑧ 高齢者について学ぼう! 講師:社会福祉協議会職員 講座:高齢者の気持ちになって考えよう! 体験:高齢者疑似体験

令和6年 2月28日(水) 10:35～12:15	美咲中央小学校 20名	4年生	⑨ 聴覚障がいについて学ぼう！ ゲストティーチャー:山本 修 氏 山本 知枝子 氏 講座:聴覚障がいについて 体験:手話で挨拶、指文字、手話以外のコ ミュニケーションについて
---------------------------------	----------------	-----	--

(2)福祉教育に関する研修会及び報告会

名 称	令和5年度 第1回社協ボランティアセンターアクションプラン推進会議 (ボランティア・福祉教育担当者会議)
開 催 日 時	令和5年6月30日(金)13:30 ～16:00
場 所	きらめきプラザ3階 介護実習室
対 象	市町村社会福祉協議会ボランティア・福祉教育担当者
内 容	福祉教育推進に向けて、県社協が考える第3次社協VCアクションプラン策定の意義や目的、支援方針についての講義をいただき、ワークショップの中で今後の活用方法について検討することができました。また、近隣社協の担当職員との意見交換会では、福祉教育を進めえていくうえでの課題を再確認し、意見を交わしながら解決策について考えることができました。

(3)地域に根付いた福祉教育の実践

「福祉教育＝学校」という考え方ではなく、地域福祉は福祉教育で始まり、福祉教育で終わるとの言葉どおり、学校にとどまらず、地域・家庭・施設にも目を向け、美咲町社協が実施する事業と連携しながら、地域のふれあいサロンや通いの場、小地域ケア会議、当事者の会などの場を活用し、福祉教育を実践しました。

(4)美咲流(地域版・学校版)福祉教育プログラムの実施

車いす体験・高齢者疑似体験・視覚障がい(サウンドテーブルテニス、グラウンドソフトボール)・聴覚障がい(さまざまなコミュニケーションの方法)・ふくしについて・ボランティアについて・フレイル予防について・ヤングケアラー・ダブルケアについて等の美咲流の福祉教育プログラムを実施しました。

(5)各種団体・大学等における福祉教育の実践

開 催 日 時	令和5年12月14日(木)14:20 ～15:50
場 所	美作大学講義室
対 象	社会福祉学科2年生 27名
講 師	山本 修 氏、山本 知枝子 氏 美咲町社会福祉協議会 地域福祉課職員
内 容	NPO・ボランティア論の講義の1コマに講師として伺いました。 聴覚障がいがある山本さんご夫婦は、手話で「こんにちは」「おはよう」などの挨拶や、学生一人ひとりの名前を指文字で丁寧に教えました。

	コロナ禍では、常に皆マスクをしているので、聴覚障がいの方は何を話しているのか分かりにくく、表情が分かるマスクを使う等、マスクを工夫することでコミュニケーションが取れることもお伝えしました。
--	--

開催日時	【第1回】 ①令和5年11月17日(金曜日) 9:00～11:00 ②令和5年12月15日(金曜日) 18:00～20:00 【第2回】 ①令和6年 1月15日(月曜日) 9:00～11:00 ②令和6年 2月16日(金曜日) 18:00～20:00
場所	美咲町役場・ふれあいセンター
対象	美咲町役場職員56名・社協役職員49名 計105名
講師	山本 修 氏、山本 知枝子 氏 美咲町社会福祉協議会 地域福祉課職員
内容	ろうあ者(聴覚障害者)の特性を理解し、コミュニケーションの輪を広げて豊かな共生社会を築くために手話をはじめとするコミュニケーション手段を学びました。 【第1回】 ・色々あるコミュニケーション手段(伝える手法)を学ぼう！ ・名前やあいさつの表し方を学ぼう！ 【第2回】 ・指文字を使ってみよう！ ・手話単語ビンゴゲームをやってみよう！

開催日時	【理事会】 令和5年11月8日(水)13:30～15:00 【評議員会】 令和5年11月17日(金)13:30～15:00
場所	ふれあいセンター
対象	美咲町社会福祉協議会 理事・評議員・監事 他
講師	美咲町社会福祉協議会 地域福祉課職員
内容	美咲町社会福祉協議会が実施する障がい者支援事業 みしゃモンカレッジ他

6. 子育て支援事業

子育て世代の居場所である「ひよこクラブ」「わんわんクラブ」は、ふれあいサロン活動の運営支援のための助成を行い、ふれあい交流促進支援を行いました。

また、令和5年度からみんなで食堂(P. 42参照)を開催し、子育て世代との関わりをもつきっかけとなりました。令和6年度からコウノリ事業を新規事業として実施し、子育て世代への支援を充実させていくことで、住民に共同募金の趣旨に添った使用用途が明確に啓発され、また、困りごとがないか確認したり、相談窓口を周知したりすることで、課題が重度化・複雑化する前に支援につながる効果が期待されます。

7. 社会福祉大会の開催

美咲町社協の活動理念のもと、子どもから高齢者・障がい者等、誰もが生き活きと暮らすことができる共生の地域づくりに努め、社会福祉の向上にご尽力された方を顕彰し感謝の意を表すため、

「第12回美咲町社会福祉大会」を開催しました。

日時:令和5年10月1日(日) 13:00~15:30

場所:旧打穴小学校体育館

式典:美咲町社会福祉協議会会長表彰他

講演:「ヤングケアラーについて正しく知ろう」

講師:特定非営利活動法人ふうせんの会 事務局スタッフ 三島俊祐 氏
運営メンバー 川寄大介 氏

8. 共同募金事業の推進

美咲町共同募金委員会の行う共同募金への運動及び配分助成事業を計画に沿って行うなか、戸別募金の減少傾向に歯止めをかけ、募金活動を活性化するために、各種事業を展開しました。また、地域福祉の推進を目的とする共同募金に住民理解が得られるよう、募金手法や配分助成事業の公募・助成審査・決定に関する情報の開示、集められた募金の使途の明確化等、各種事業の機会を活用して住民と顔を合わせながら伝えるよう努めました。

(1)美咲町共同募金委員会運営委員会(運営委員 12名、監事 2名)及び審査委員会(審査委員 9名)

	開催日時	協議内容
監 査	令和5年 5月23日(火) 15:00~16:00	・令和4年度共同募金事業報告・決算、監査 監 事 2名出席 事務局職員3名出席 担当職員2名出席
交 付 式	6月2日(金) 13:00~13:30	・令和5年度赤い羽根共同募金助成交付式 交付団体:NPO 法人アーツ&クラフツビレッジ 倭文西自慢のレシピ会議
運営委員会 (第1回)	9月8日(金) 13:30~15:00	・岡山県共同募金会美咲町共同募金委員会運営委員会の 委員長の互選ならびに副委員長の指名について ・令和4年度岡山県共同募金会美咲町共同募金委員会事業 報告ならびに決算、監査について 委 員 11名出席 監 事 2名出席
運営委員会 (第2回)	12月15日(金) 13:30~15:00	【報告】 ・赤い羽根手作り募金箱・ポスター受賞作品の報告 ・令和5年度赤い羽根共同募金事業及び実績(中間報告) 【協議事項】 ・アンケート結果をもとに今後の赤い羽根共同募金運動の推 進方法について検討 委 員 7名出席
運営委員会 (第3回)	令和6年 3月11日(月) 13:30~15:00	【議 案】 ・令和6年度赤い羽根共同募金(赤い羽根募金・歳末たすけ あい募金)配分助成事業計画について ・令和6年度赤い羽根共同募金事業計画について 委 員 12名出席
審査委員会	令和6年 3月22日(金) 13:30~15:00	・岡山県共同募金会美咲町共同募金委員会審査委員会の 委員長の互選ならびに副委員長の指名について ・令和6年度赤い羽根共同募金助成事業助成審査について 委 員 8名出席

(2) 赤い羽根共同募金 募金運動について

10月1日から12月31日を運動期間として、各種募金運動を展開しました。

赤い羽根募金の実績

(目標額 2,340,000)

(単位:円)

募金種別	金額
戸別募金	1,516,500円
職域募金	148,400円
企業募金	542,900円
イベント募金	64,101円
その他の募金	199,129円
計	2,471,030円

歳末たすけあい募金の実績

(目標額 1,500,000)

(単位:円)

募金種別	金額
戸別募金	1,417,900円
その他の募金	195,848円
計	1,613,748円

※その他の募金とは、寄付つき商品の売上、歳末時期のイベント募金、手作り募金箱等で集まったお金です。

募金運動	主な募金方法、募金ボランティア
共同募金運動 (期間:10/1~12/31)	<ul style="list-style-type: none"> ・戸別募金(常会長、連絡協力員による。世帯を対象) ・職域募金(職員を対象) ・企業募金(企業を対象) ・イベント募金(5月18日(木)本人の主張大会/10月1日(日)美咲町社会福祉大会/10月15日(日)たまごまつり/12月6日(水)・7日(木)笑顔のお届け便 他) ・その他募金(募金箱、募金グッズ等)

★募金にご協力いただきました企業さま (全120社/順不同・敬称略)

森田商店	株式会社旭石油店	有限会社遠藤建設	三休商会
あいでんフジワラ店	島田理容	株式会社森脇興業	江与味製材株式会社
石井番二郎商店	大崎商店	アサヒ防災工事株式会社	旭木材株式会社
桃太郎商事株式会社	石原歯科医院	株式会社ナカツカ	丸美屋
本田事務所	たまご&ファーマーズ株式会社	有限会社イワサキストア	アトム美咲店
みさきのたね	おぎフォート	医療法人篤乃甲診療所	関医院
にぎわい市場三金や亀甲店	オクテヤ運送株式会社	アルスヘア	株式会社ファイナンシャルパートナー
株式会社鈴鹿製材所	有限会社八田鉄工所	池上美容室	テクノス株式会社
美咲町物産センター	有限会社日神山内装	日本緑研株式会社	有限会社美絹糸院
株式会社美咲物産	アロン・ド・My	株式会社P I C	美咲町物産センター
株式会社亀甲マイカーセンター	株式会社オーエスエー	有限会社三協緑産	中央アルミ工業株式会社
有限会社山一製作所	株式会社久米観光バス	村上オートセンター	有限会社坂手商店
有本観光バス株式会社	小島梨園	理容たいら	株式会社中央建設
有限会社内田石材店	有限会社有機商事	株式会社中央ブチカントリークラブ	株式会社杉本建設
ザ・オークレットゴルフクラブ	農事組合法人 アグリモモ人安味	株式会社ミワ 美咲ブルーファーム豊竹	ハリキ精工株式会社 岡山工場
社会福祉法人鶴岡ケアハウス百壽	株式会社マルケイ工業	山下ぶどう園	有限会社寒竹建設
株式会社タケチ 柵原工場	株式会社寒竹工務店	日本興業株式会社 柵原工場	株式会社下山組
株式会社ヒカリテック	株式会社野上石油店	柵原オートセンター株式会社	有限会社福家石材
有限会社直原商会	田口医院	有限会社脇石油店	松尾設備工業株式会社
スーパーひとみ	KittoBitto	有限会社トラヤランドリー	有限会社鈴鹿モータース
有限会社山荘やなはら	石戸歯科医院	株式会社戸板組	つぼや
株式会社大阪合成有機化学研究所	DOWAエフテック株式会社	有限会社柴原石油店	株式会社テイサービスみさき
株式会社トンボ美咲工場	タナカ美容室	有限会社昭和堂	医療法人三恵会 柵原病院
有限会社万代土建	鳥越建具店	Hair Leaf	株式会社月の輪建設工業
卯根倉館業株式会社西部事業所	エコシステム山陽株式会社	有限会社重販自動車	有限会社梶尾建設
株式会社脇木工	菊井歯科医院	社会福祉法人鶴岡さやかなる苑	ツボテック工業株式会社
北和気郵便局	みどりホーム	株式会社シーモス	久米郡商工会
共和建設有限公司	有限会社ひろはた	日笠商事株式会社	株式会社津山医研
株式会社エムズ	三菱電熱工業株式会社	柴田電気管理事務所	有限会社創示社
株式会社アサンテ	株式会社 BEAGLE	株式会社コロクメディアデザイン	株式会社三勝

(3) 共同募金活動の充実

①手づくり募金箱大募集！！～わたしのまちの赤い羽根募金箱～

②赤い羽根ポスターコンクール

共同募金のしくみを見える化するため、子ども、障がい者施設・団体、高齢者施設、サロンなど幅広い世代へ手づくり募金箱作成の募集と赤い羽根ポスター作製の募集を行いました。10月から始まる共同募金運動では、公共施設や企業などに設置させていただき、共同募金運動を盛り上げていただきました。また、第12回美咲町社会福祉大会にて優秀作品を表彰しました。共同募金期間終了後もみんなのアート展示会～わたしの世界inみさき～にて町内巡回展示会を実施し、共同募金の周知に努めました。

(応募募金箱17点 手作り募金箱への募金額49,470円/応募ポスター15点)

募金箱の設置にご協力いただいた企業・公共施設のみなさま

ビューティーサロン・カゲヤマ、株式会社美咲物産（食堂かめっち・ミサキアエル）、美咲警察署、JA晴れの国岡山（中央支店）、にぎわい市場三金や亀甲店、株式会社ナカツカ、美咲町物産センター、株式会社亀甲マイカーセンター、株式会社久米観光バス、亀甲駅、オクテヤ運送株式会社、有限会社三協緑産、久米郡商工会、有限会社日神山内装、ドライブイン寿、(株)中央ブチカントリークラブ、東伸金属工業株式会社 柵原工場、株式会社脇木工、北和気郵便局、JA晴れの国岡山（柵原支店）、農事組合法人アグリモモ人安味、エコシステム山陽株式会社、やさい畑、卯根倉鋳業株式会社 西部事業所、石戸歯科医院、Hair Leaf、アサヒ防災工事株式会社、みち停あさひ、役場本庁舎、旭総合支所、柵原総合支所、中央保健センター（順不同）

(4) 新たな募金グッズ制作及び募金実績向上につながる事業の展開

募金の使途や地域への還元のしくみをより幅広い世代へ周知し、また募金実績向上につながることを目的に、新たな募金グッズを制作し、寄付者の開拓に努めました。

[共同募金グッズ]

みしゃモンオリジナルトートバッグ/みしゃモンお守り(さくらの実とのコラボグッズ)

みしゃモンオリジナルボールペン/みしゃモンブロックメモ/みしゃモン不織布マスク(大人・子ども)/マスキングテープ/付箋/木製アニマルストラップ・木製鉛筆立て・木製ティッシュケース(木工ボランティア) /ドライフラワー(ほっとスペースすみれ)など

(5) 支えあい活動の支援

住民が自発的に行う社会貢献活動を支援するため、ボランティア団体やNPO法人が行う福祉活動等に対し公募方式により助成を行いました。また、美咲町共同募金委員会の行う共同募金運動及び配分助成事業を計画に沿って実施しました。

(6) 災害見舞金と災害義援金への協力

美咲町内で、火災等で被災した住民に対し災害見舞金を支給しますが、今年度は4件でした。また、国内での自然災害等が発生した場合、岡山県共同募金会と連携のもと、義援金の募集等に

努めました。

(美咲町共同募金委員会より見舞金1件/岡山県共同募金会より見舞金3件)

9. 社協会員の加入促進

美咲町社協の地域福祉事業活動の推進の財源として活用し充実に努めました。

普通会員			特別会員			ふるさと会員		
件数	金額	口数	件数	金額	口数	件数	金額	口数
328	455,000	450	65	279,000	92	0	0	0
合計734, 000								

10. その他福祉事業の推進

(1) 福祉団体活動支援事業

町の補助により、福祉団体の自主的運営に対して助成を行い、自主活動の支援を行いました。

支援団体:4団体

(美咲町身体障害者福祉協会・美咲町遺族会・美咲町保護司会・美咲町更生保護女性会)

(2) 広報活動の促進

広報紙「社協だより」を毎月発行し、美咲町社協が実施する福祉事業について周知を図るとともに、福祉活動や福祉情報等を提供してきました。また、ホームページ・フェイスブックを活用して情報をタイムリーに幅広く発信していくことにも努めてきました。

(3) 貸出事業(レクリエーショングッズ、福祉用具他)

レクリエーショングッズ貸出件数:100件 【貸出先:ふれあいサロン、通いの場 等】

1位:ボッチャ/2位:点取りルーレット/3位:モルック

福祉用具貸出件数:7件 【福祉用具:車いす】

(4) 視察研修会の受け入れ及び取材の協力

開催日時	令和5年8月4日(金)14:00～15:30
場所	美咲町中央保健センター
対象	総社市社会福祉協議会 2名 美咲町社会福祉協議会 職員1名 計3名
講師	美咲町社会福祉協議会 地域福祉課職員
内容	美咲町社会福祉協議会が取り組む 生活困窮者支援事業・ぷらっとほーむみさき事業 他

開催日時	令和5年8月29日(火)13:30～15:00
場所	美咲町中央保健センター
対象	矢掛町社会福祉協議会 役職員 14名 岡山県生涯学習センター職員 1名 美咲町社会福祉協議会 役職員5名 計20名
講師	美咲町社会福祉協議会 地域福祉課職員
内容	美咲町社会福祉協議会が取り組む障がい者支援事業の紹介

	みしゃモンカレッジの取り組み紹介 他 意見交換
--	----------------------------

開催日時	令和5年11月29日(水)14:30~16:00
場所	美咲町中央保健センター
対象	早島町包括ケア懇話会委員 早島町社会福祉協議会・早島町地域包括支援センター 16名 美咲町役場2名・美咲町社会福祉協議会役職員10名 計28名
講師	美咲町社会福祉協議会 地域福祉課職員
内容	美咲町社会福祉協議会が実施する小地域福祉活動について 小地域ケア会議・生活困窮者支援を通じた地域づくりについて 等

開催日時	令和6年2月16日(金)13:00~15:00
場所	美咲町中央保健センター
対象	文科省の委託事業を受託する 愛媛県新居浜市の「新しい学び創造委員会」 計4名
講師	美咲町社会福祉協議会 地域福祉課職員
内容	美咲町社会福祉協議会が取り組む障がい者支援事業の紹介 みしゃモンカレッジの取り組み紹介 他 意見交換 ※文部科学省より紹介

(5)実践発表 講師派遣について

開催日時	令和5年12月1日(金)13:00~16:30
場所	おかやま西川原プラザ 本館2F 大会議室 A
対象	市町村社協、市町村行政担当課、生活困窮者自立相談支援機関、社会福祉法人、民生委員・児童委員、福祉委員、地区社協、NPO 法人、ボランティア団体等 50名
内容	基調講義/岡山県立大学 教授 近藤理恵 氏 「地域で支えるこれからの生活困窮者支援について考える～ヤングケアラーの事例をもとに～」 実践報告 「地域と共に行う早期把握と見守りのネットワークづくりについて」 ・社会福祉法人 美咲町社会福祉協議会 地域福祉課長 小林 奈緒

開催日時	令和6年 1月30日(火) 13:30~15:30
場所	オンライン方式(ZOOM)
対象	自治体・福祉・地域担当職員・集落支援員・市民活動団体など地域づくり支援に関わる職員
内容	令和5年度中国5県中山間地域振興部会スキルアップ研修会 具体的事例から学ぶ 地域主体の取組とその支援

	パネルディスカッション ・打穴まちづくり協議会・美咲町役場・みんなの集落研究所・美咲町社会福祉協議会
--	---

開催日時	令和6年3月10日(日)9:30～16:00
場所	岡山県医師会館三木記念ホール(岡山市北区駅元町 19-2)
対象	岡山県医師会員、岡山県、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山県介護保険関連団体協議会 他
内容	岡山プライマリ・ケア学会総会・第30回学術大会 保健・医療・介護・生活支援が持続可能なプライマリ・ケア ～明るく過激に思い切り夢を語ろう～ ■ 記念講演 10:10～11:10 「地域包括ケアシステムの具体化」 産業医科大学公衆衛生学教室教授松田晋哉 ■ パネルディスカッション 11:10～12:10 「薬局・薬剤師の「今」と「これから」」 岡山県薬剤師会常務理事寺井竜平 「訪問看護の持続可能性を考える」 岡山県看護協会地域包括ケア推進室長江田純子 「介護支援専門員の抱える課題と未来創造」 岡山県介護支援専門員協会理事坂本綾子 「美咲町における生活支援の実際」 美咲町社会福祉協議会地域福祉課課長小林奈緒

(2)生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で生活を継続していくために、高齢者の日常生活における生活支援・介護予防について、多様なサービスの提供体制など基盤整備を構築するため、地域において支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して、支援体制の充実・強化に努めました。

住み慣れた地域で生活を継続していくために、高齢者の日常生活における生活支援・介護予防について、多様なサービスの提供体制など基盤整備を構築するため、地域において支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して、支援体制の充実・強化に努めました。

1. 生活支援に関する情報収集と課題把握、多職種との連携

(1)小地域ケア会議をはじめとする地域包括ケアシステムを構築している会議への参加

①小地域ケア会議 P. 9参照

②地域ケア会議・地域包括ケア会議

地域	中央地域	旭地域	柵原地域
月日	令和5年11月9日(木)	令和5年11月1日(水)	令和5年11月7日(火) 令和5年11月17日(金)
会場	中央保健センター	旭町民センター	柵原総合文化センター

	大講義室	大会議室	多目的ホール
時 間	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:30
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回包括ケア会議の報告 ・美咲町の小地域ケア会議及び地域の取り組みについて ・避難行動要支援者名簿の登録・更新について ・グループワーク「防災の視点を入れた見守りマップの作成」 		

地域包括ケア会議

	開催日時	協議内容
第1回	令和5年7月20日(木) 13:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長並びに副委員長の互選について ・地域ケア会議から上がってきた5つの提言について(1～3の報告、4～5の協議) ・個別避難計画について
第2回	令和5年11月28日(木) 13:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の地域ケア会議から考える課題について(小地域ケア会議の状況、地域ケア会議の取り組みについて)
第3回	令和6年3月28日(木) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・美咲町版 ACP の取り組みについて ・地域ケア会議から見えてきた課題について ・支えあい強化の取り組みについて ・避難行動要支援者登録、個別計画の活用についての課題

以上の会議に参加もしくは参加した地域担当との情報共有を行い、地域にある生活ニーズの把握に努めました。

(2) ボランティアセンターとの連携と情報共有

美咲町内にある生活支援に関係する社会資源の情報収集と情報共有を行い、社会資源の見える化に向けて検討を行いました。

(3) 各専門職や行政機関が連携を行う場への参加

① 在宅医療・介護連携協議会の部会への参加(毎月第2火曜日開催)

多職種・行政機関との連携を図るため介護・医療連携協議会の部会に参加し、各活動状況の報告を行った他、活動の中から見えてきた課題の共有・協議を行いました。

② 在宅医療・介護連携推進協議会への参加(令和6年2月13日に参加)

医師、歯科医師、居宅介護支援事業所、福祉施設関係者などが集まる在宅医療・介護連携推進協議会に参加し、部会で検討してきた ACP ノートについて共有・協議を行いました。

③ 地域ケア個別会議への参加(毎月開催に参加) 要支援者に対する支援の検討、現在ある社会資源の活用方法の検討を行うため地域ケア個別会議に参加しました。

④ 地域課題共有会議への参加(5月31日・11月15日・2月26日に参加)

地域にある課題の解決に向け、地域みらい課が行う地域課題共有会議に参加しました。

⑤ 生活支援コーディネーター定例会への参加

普段からの情報共有に加え、定期的に事業の進捗状況や今後の計画を協議するための会議に参加しました。

(4) 地域の中で行われる会議等への参加

地域の中での自治会総会、民生委員支部会(中央・旭・柵原)、協働のまちづくり会議、防災会議等への参加や自治会長をはじめとした地域の役員の方と情報共有を行い情報収集に努めました。P. 9参照

2. 美咲町全体の生活支援体制整備のサービスの資源開発を推進

(1) 配食サービスの普及、配食ボランティアの育成

① 美咲町配食サービス事業の推進

【さやかなる苑配食サービス実績】

配食ボランティア数	15名(サポーター及び、配食見守りボランティア登録者)
食数	1日5食まで(夕食のみ)
配食範囲	さやかなる苑より15分圏内
配食可能日	月曜～金曜日
自己負担(弁当料)	400円(配食利用者が負担、さやかなる苑が直接集金)
サポーターへの報酬	サポートふ・く・しのポイント制を利用 財源は町の配食事業を活用し1件あたり500円 100円はさやかなる苑の事務費、400円はポイントでサポーターへ美咲町社協から渡している。
実績数	708回

【配食ボランティア交流会の実施】

開催日時	令和5年7月25日(火) 15:00～16:30(相談・調整) 16:45～17:15(利用者宅訪問)
場所	書副コミュニティハウス
対象	※配食ボランティア7名、長寿しあわせ課2名、さやかなる苑2名、社協2名
内容	・新規の配食サービス利用者について相談及び調整 ・配食ボランティア活動に関する意見交換 ・新規配食サービス利用者の自宅を訪問

開催日時	令和5年8月5日(土) 11:00～12:00
場所	藤原老人憩いの家 平成会館
対象	配食ボランティア5名、長寿しあわせ課2名、さやかなる苑2名、社協3名
内容	・配食サービス利用者からの感謝メッセージ及び動画 ・配食ボランティア活動に関する意見交換

② 配食事業者の新規事業者開拓

旭地域のまきばの森、またき亭、三休商会、笑うかど等に配食サービス事業についての説明に伺いました。令和5年度、新規事業者として、まきばの森(申請中)、笑うかどが配食事業者として登録されました。

倭文西地区では、令和6年度から配食サービスを開始することになり、そのために生活支援サポ

ーター養成講座を実施しました。今回、新たに32名の生活支援サポーターが誕生し、倭文西地区には38名のサポーターがおられます。

③配食サービスの新規利用者と配食ボランティアのコーディネート

小地域ケア会議等で、配食のニーズがあれば、配食事業者と配食ボランティアとのコーディネートを行いました。

(令和5年度新規利用者:百々地区80代男性1名/配食事業者さやかなる苑/塚角・書副配食ボランティアグループ)

(2)通いの場の運営支援

<支援内容>

- ①地域・団体の状況に沿い、介護予防の取組みが行えるよう支援者と協議
- ②通いの場の運営についての相談支援
- ③継続して開催を行っている場所に対する運営支援
- ④参加者の生活状況・ニーズ把握
- ⑤通いの場代表者研修会及び情報交換会の開催

ふれあいサロンと通いの場を総称して『つどいの場』とし、それぞれの代表者に一堂に会していただき、活動の情報交換・課題解決に向けた情報提供を目的として研修会を開催しました。また、サロンに来てもらえるボランティア団体や個人の紹介、レクリエーショングッズの周知などを行い、サロン活動の活性化につながるよう努めました。

【”地域の集いの場”合同研修会(上期)】

ふれあいサロンと通いの場を、「地域のつどいの場」として、それぞれの代表者に一堂に会していただき、助成金の配布及びフレイル予防に関する研修会を実施しました。

実施日	地区	参加者数	内容
令和5年 6月8日(木)	3地区 合同	100名	① ムジカなかよし 様による歌や演奏 ② 「地域フレイル予防の取り組み」 講師:美作大学社会福祉学科 教授 小坂田 稔 氏 ③ 助成金等についての事務連絡、相談会 ④ 通いの場代表者同士の交流会

【”地域の集いの場”合同研修会(下期)】

実施日	地区	参加者数	内容
令和6年 2月27日(火)	3地区 合同	93名	① 「地参地笑でいつまでも健康に」 講師:津山市健康増進課 安本 勝博 氏 ② 連絡事項など

地域	団体名	会場(地域)	開催曜日	備考
柵原	八神・塚角元気村	塚角コミュニティハウス	毎週火曜日	
	高下通いの場	高下公会堂	毎週水曜日	
	飯岡地区通いの場	晴れの国岡山農業協同組合 飯岡支店跡地	毎週金曜日	
	さつき通いの場	久木コミュニティハウス	毎週金曜日	
	南和気通いの場	南和気コミュニティハウス	毎週木曜日	
	北和気健康の集い	北和気コミュニティハウス	毎月第2・4月曜日	

		羽仁公会堂	10:00～ 毎月第1・3火曜日 10:00～	
	スポレク柵原	柵原総合支所	毎週水曜日 10:00～	
中央	錦織通いの場	錦織ふれあい館	毎週月曜日 毎月第4木曜日	
	打穴上通いの場	打穴上集会所	毎週火曜日	
	打穴通いの場	打穴西公会堂 普光寺	毎月第1金曜日 (ワンデイカフェ) 第2・4火曜日 (コロバン体操) 毎月第3火曜日 (写経)	
	打穴北通いの場	大谷コミュニティ 定国公会堂 秋政公会堂	毎週水曜日	
	大併和通いの場	大併和老人憩いの家/ 大併和ふれあいプラザ	毎週金曜日	
旭	栃原通いの場	揚名会館	毎週水・土曜日	
	上口通いの場	上口公民館	毎週月曜日	
	西川健やかクラブ	西川コミュニティセンター	毎週月曜日	
	みなみ通いの場	南公民館	毎週土曜日	
	併和元気ハツラツ 通いの場協議会	併和コミュニティセンター	毎週水曜日	
	西併和通いの場	西併和公民館	毎週火曜日	令和2年度か ら開催なし
	江与味にここにこ会	江与味コミュニティセンタ ー/友楽館	毎週月・金曜日	
	6時だよ全員集合	滝の畝公民館	毎週土曜日	

・通いの場の継続支援:年間合計32回参加

(3) ふれあいサロンの立ち上げ支援・運営支援

地域福祉事業 P. 10参照

3. ネットワークの構築(1層、2層協議体)

(1) 1層(美咲町全体)協議体でのネットワークの構築(行政実施主体)

令和4年度・令和5年度の開催はありませんでした。

(2) 美咲町生活支援サービス検討会(2層協議体)の開催

①移動や買い物に関するニーズが高まっているため、先進的に住民主体の移動支援に取り組まれている新見市社会福祉協議会にて視察を行いました。

開催日時	令和6年3月6日(水)14:30～16:00
場所	新見市社会福祉協議会(新見市金谷640番地1)
対象	2層協議体委員11名、まちづくり協議会代表者5名、行政5名、社協2名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新見市の現状や生活支援体制整備事業について ・住民主体の移動支援の取り組みについて(活動紹介) ・意見交換

②小地域福祉活動報告会の開催

小地域ケア会議について再確認するとともに、各地域の取り組み発表を通して、情報共有や活動の重要性の再確認及び活性化につなげることを目的に報告会を行いました。

実施日	対象/参加者数	地区	地域	報告内容
令和6年 3月20日(水)祝	小地域ケア会議の構成員・2層協議体委員・他/計82名	旭	北	倭文西まちづくり協議会と小地域ケア会議
		柵原	塚角	安全・安心のむらづくり ～人の和とふれあいの里つかつの～
		柵原	安井	安心・安全な地域づくりを目指して

4. 住民へ支援のニーズと資源の見える化(広報)を図り、支えあいの雰囲気醸成

(1) 社会資源マップ(ぎょーさんあるで！みさきのお宝じまん)の配布

地域の皆さんに町内のお宝(様々な取り組みや情報)を知ってもらうために、社会資源マップを作成し、小地域ケア会議等で啓発しました。

5. 研修会等への参加(コーディネーター1層・2層の資質向上や、情報交換等)

生活支援コーディネーターの資質向上のため、下記の研修会へ参加しました。

開催日時	令和5年7月28日(金)13:00～15:00
場所	津山市総合福祉会館 中会議室
対象	行政職員、社協職員、移動や外出支援に興味のある地域住民など
内容	<p>『住民主体の移動・外出支援』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演 「高齢者の移動手段を確保するための制度・事業モデルパンフレット」の活用を学ぶ ～住民主体による移動支援の企画立案を想定して～ 講師 特定非営利活動法人 移動ネットおかやま 理事長 横山 和廣 氏 ・活動報告 真庭市くらしサポート黒田 代表 稲田文夫 氏

6. サポートふ・く・しについて

美咲町社協が、少子高齢化や核家族化・単身化が問題視される中、見守り・ちょっとしたお手伝いや相談を地域に関わるすべての人・団体の力を借り、またそれらの力を活かし、すべての地域住民が、お互いの支え合いのもと、安心して暮らせる地域づくりに努めました。

(1) 生活支援サポーター数

登録者数	中央 121名	柵原 91名	旭105名	計317名
------	---------	--------	-------	-------

(2)活動回数

①契約訪問について

買い物付き添い〈1件2回〉・生活支援(ごみ捨て・草取り等)〈4件141回〉

②サポートふくしのコーディネートについて

サポーターと利用者がうまく支援が展開できるように、必要に応じて、地域支援会議や個別会議などを行いました。また、新規・継続ともに生活支援サポーターが円滑に活動できるよう相談支援を行いました。

(3)生活支援サポーター会合の推進

地域で活動する生活支援サポーター同士が情報交換を行い、円滑に活動が行えるようにサポーター会合の推進に努めました。

打穴西地区		原田地区	
開催回数	4回	開催回数	3回
参加延人数	80人	参加延人数	15人
内 容	地区の活動状況について 気になる方の見守り情報交換	内 容	各地区の気になる方の見守り 情報交換

(4)生活支援サポーター養成講座及びフォローアップ講座の開催

近年、“生活支援サポーター養成講座を小地域単位で実施してほしい”という声が多く挙がっていたため、自治会・旧小学校区を単位として、2地区で開催しました。総勢67名の方に参加していただき、この度、新しく46名の生活支援サポーターが誕生しました。

開催日時	〈第1回目〉令和5年6月25日(日)13:00～16:00 福祉の里あさひが丘 〈第2回目〉令和5年10月21日(土)13:00～16:00 福祉の里あさひが丘
場所	〈第1回目〉令和6年2月18日(日)13:00～16:00 北ふれあい館 〈第2回目〉令和6年3月3日(日)13:00～16:00 北ふれあい館
対象	埴和まちづくり協議会・倭文西まちづくり協議会
内容	<ul style="list-style-type: none"> *傾聴について ・美作大学社会福祉学科 堀川涼子教授 *「生活困窮者支援を通じた地域づくりへ」 ・ノートルダム清心女子大学 中井俊雄准教授(埴和会場) ・総社市社会福祉協議会 剣持美典氏(倭文西会場) *障がいの理解について ・みしゃモンカレッジ長 松岡博史氏(埴和会場) ・山本修氏・山本知枝子氏(倭文西会場) *見守りについて *「自分らしい生活を送るために ～サポートふ・く・しの事例より～」 ・美咲町社会福祉協議会

【埴和地区】

今回、新たに14名の生活支援サポーターが誕生しました。埴和まちづくり協議会には全員で27名のサポーターがおられます。埴和まちづくり協議会では、防災の取り組みを進められるなど、

地域全体で頑張っておられます。

【倭文西地区】

今回、新たに32名の生活支援サポーターが誕生しました。倭文西には全員で38名のサポーターがおられます。

倭文西では、令和6年度から配食サービスの開始を計画しています。その際のお弁当配達に協力をしていただきます。※清築ひまわり会から5名も一緒に講座を受けられました。

(3) 権利擁護事業・生活困窮者自立支援事業

本人の意志を尊重した支援の提供が行えるよう、意識した支援に努めました。また、複雑化・多様化しているニーズに添えていくために他の事業や機関と柔軟に連携し支援に努めました。

また、美咲町権利擁護センターの運営委員会にて成年後見制度の促進に向けた協議を行っていくため、市民後見人や美咲町障害児者親の会の方に運営委員に加わっていただきました。運営委員会では事業等の紹介を行ったほか、アンケートを実施し制度の実状に沿った取り組みにつなげていくことが出来るよう努めました。

従来の地域福祉事業に加え、美咲町地域包括支援センター事業、生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者家計改善支援事業との連携のなかで、あらゆる世代への総合相談に努めました。特に、障がいや病気のみならず、就労できない、他人との交流が苦手など生きづらさを抱えた世帯への支援を福祉、司法関係の機関や地域との連携のなかで検討することができるように努めました。

1. 美咲町権利擁護センター事業(受託事業)

(1) 運営委員会開催

区分	第1回	第2回	第3回
日時	6月19日(月) 13:30~15:00	11月20日(月) 18:30~20:30	3月18日(月) 15:00~16:30
議案	議案第1号 美咲町権利擁護センター運営委員会委員長の互選について 議案第2号 美咲町権利擁護センター運営委員会副委員長の指名について 議案第3号 令和4年度美咲町権利擁護センター事業報告 議案第2号 令和4年度美咲町権利擁護センター決算	協議事項 ① アンケートの集計結果と上半期に寄せられた相談内容について ② 美咲町の課題と今後の中核機関の取り組みについての意見交換 ③ 意思決定支援研修の開催について ④ 美咲町権利擁護センター10周年に向けた取り組みについて	報告 和6年度の美咲町権利擁護センターの運営について 議案第1号 令和6年度美咲町権利擁護センター事業計画について 議案第2号 令和6年度美咲町権利擁護センター事業予算について

(2) 支援検討委員会開催

区 分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
日 時	5月16日 (火) 14:00～ 15:00	7月24日 (月) 13:30～ 15:00	9月25日 (月) 13:30～ 15:00	/	1月22日 (月) 13:30～ 15:00	3月18日 (月) 13:00～ 14:30
検討ケース (後見制度に 関するケース)	2件 (2件)	1件	3件	/	3件 (1件)	1件

※第4回については検討ケースが挙がらなかったため中止となる。

合計12件(うち新規6件)

(3) 意思決定支援の適切な実施と地域住民と専門職との一体的な支援

本人の想いに寄り添い、意思に沿った支援が行えるよう関係機関と連携を図り支援を行いました。

【権利擁護センター支援実績】

分 類	電話 相談	連絡 調整	来所 相談	訪 問	他機関 同行	支援 会議	同行支 援	日援連携 支援日	食糧 支援	その 他
認知症等 高齢者	237	392	41	110	1	18	10	81	3	5
知的障が い者等	307	105	58	36	0	4	8	31		3
精神障が い者等	70	101	9	46	1	3	6	30		5
その他・不 明	158	198	66	83	1	9	11	1	2	21
合 計	772	796	174	275	3	34	35	143	5	34

合計2271件

2. 『けんりようご意見交換会～まあるくなあれ～』及び権利擁護講座の実施

市民後見人のフォローアップ・活動支援を目的に「けんりようご意見交換会」を開催しました。また、市民後見人・福祉関係者・地域住民・社協役員等を対象とした講座を実施し、権利擁護の啓発につなげました。

(1) 『けんりようご意見交換会～まあるくなあれ～』の開催及び市民後見人お話し会への参加

市民後見人への活動支援を目的に、情報共有・相談ができる場を定期的に設けました。意見交換会開催後には、市民後見人同士での情報や課題の共有を行う場が設けられており、参加しました。

【けんりようご意見交換会～まあるくなあれ～開催実績】

日 時	内 容	講 師	参加 人数	お話し会参加 人数
5月9日(火) 13:30～15:00	“社協”について	美咲町社会福祉協議会 職員	12名	市民後見人 8名 社協 2名

7月11日(火) 13:30～15:00	① “権利擁護”について ② 成年後見制度利用 促進に関する事業	美咲町権利擁護センター 職員 美咲町福祉事務所 所長代理 草地 博幸 氏	13名	市民後見人 5名 社協 2名
9月12日(火) 13:30～15:00	① “死後事務”について ② 美咲町における死後 の手続きについて	美咲町権利擁護センター 職員 美咲町福祉事務所 所長代理 草地 博幸 氏	12名	市民後見人 6名 社協 1名
11月14日(火) 13:30～15:00	ケース共有 なんでも相談	美咲町権利擁護センター 職員	9名	市民後見人 の参加が少 なかつたた め開催な し。
1月16日(火) 13:30～15:00	障がい者支援について ～社協の障がい者支援 事業を通じて～	美咲町社会福祉協議会 地域福祉課 課長 小林 奈緒	15名	市民後見人 8名 社協 2名

年間5回/延べ参加人数 68名

※3月については意思決定支援研修を開催しました。

けんりようご意見交換会の参加者にも案内通知を行いました。

(2) 権利擁護講座の開催

① 生活支援サポーター養成講座 P. 33参照

日時	場所	内容	対象者
6月25日(日) 13:00～16:00	福祉の里あさひが丘 (埴和地区)	自分らしい生活を送るために ～サポートふ・く・しの事例より～	埴和地区 倭文西地区 清築ひまわり会 総勢 67名
2月18日(日) 13:00～16:00	北ふれあい会館 (倭文西地区)		

② 意思決定支援研修 ※鏡野町社会福祉協議会と合同開催

日時	場所	内容	参加者
3月21日(木) 10:00～12:00	鏡野町中央公民館	意思決定支援とは？ ～「最後まで自分らしく」を 支えるために～ 講師:美作大学 学長補佐 小坂田 稔 氏	市民後見人 5名 権利擁護センター 運営委員 1名 けんりようご意見交換 会参加者 3名 学生 1名 社協役職員 16名 鏡野町参加者 23名 合計51名

(3) 金融機関との情報交換会の開催

①JA 晴れの国岡山情報交換会

日時	場所	内容	対象者
2月6日(火) 17:00～18:30	JA晴れの国岡山中央支店	権利擁護センター、日常生活自立支援事業、成年後見制度について	JA晴れの国岡山中央支店 職員 10名

3. 権利擁護・成年後見制度の啓発・利用促進

権権利擁護制度の周知を目的として、社協だよりへの掲載、ふれあいサロンや小地域ケア会議等へ出向いて広報活動を行いました。

(1)社協だより・ホームページを活用しての啓発

社協だよりの「みしゃモン掲示板」や「みしゃモンクイズ」を活用し、権利擁護や成年後見制度に関する記事を掲載しました。11月号では、サポートふくしの活動を通して、認知症や障がいがあっても自分らしい生活を過ごされていることや、地域福祉事業と地域住民が連携をしながら、ご本人を支えていることを紹介しました。その他に、日常生活自立支援事業の説明と支援員の活動を紹介したり、市民後見人の活動を現在活動されている方にインタビューをしたりして啓発を行いました。

【社協だより掲載実績】

月	内容	掲載ページ
6月号	ふくしの相談会 in みさき	表紙
8月号	①「美咲町権利擁護センターについて」 ②「成年後見制度と中核機関について」 ③成年後見制度の対象者は？	①みしゃモン掲示板 ②みしゃモン掲示板 ③みしゃモンクイズ
11月号	美咲町権利擁護センターのひとコマ ～サポートふくしと連携した支援の紹介～	みしゃモン掲示板
12月号	①ふくしの相談会 in つやま ②美咲町権利擁護センターのひとコマ ～日常生活自立支援事業について～	①表紙 ②みしゃモン掲示板
1月号	①あったか心バンクについて ②美咲町権利擁護センターのひとコマ ～あったか心バンクについて～	①みしゃモンクイズ ②みしゃモン掲示板
2月号	美咲町権利擁護センターのひとコマ ～市民後見人について～	みしゃモン掲示板

(2)ワンストップの相談支援機関としての窓口の周知

権利擁護や成年後見人制度の相談窓口としての周知を行い、支援や制度を必要としている方の相談を受け付けました。

4. 日常生活自立支援事業の促進

福祉サービスに関する情報提供、助言、手続きの援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを行い、自立した日常生活が送れるよう支援をしました。事業実施にあたり成年後見制度への移行や福祉サービス利用内容の変更等に対応するため、他機関との連携と生活支援員への報

告・連絡体制の充実に努めました。

(1)利用状況

(単位:人)

区 分	認知症等 高齢者	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合 計	内生活保護受給者
昨年度末時点 契約者数	4	4	3	11	1
令和5年度 新規契約者	1			1	1
※解 約		1		1	
合計利用者	5	3	3	11	2

生活支援員 登録者数 3人

(2) 県社協監査の実施

事業の適正な運営を行うため、岡山県運営適正化委員会より実施状況調査を受け、記録や預かり物件の管理等についてチェックを受け、指導を頂きました。

日 時	場 所	内 容
令和5年8月3日(木)	ふれあいセンター2階 大会議室	①支援ケースの対応状況について ②金銭管理、書類等預かりサービスについて ③その他

5. 法人後見事業(5件)

支援検討委員会において、美咲町社協の受任がふさわしいケースと認められ、家庭裁判所から審判を受けたケースについて、美咲町社協にて本人の意思に沿った生活が送れるように支援を行っています。

【法人後見受任状況】

区 分	後 見	補 佐	補 助	合 計	備 考
昨年度末時点 受任件数	3		2	5	
令和5年度新規 受任件数					
終了					
合計利用者	3		2	5	

※うち、市民後見人との複数後見 2件

- ・昨年新たに受任した70代男性について、認知症の進行により独居での生活が難しい状況になり、特別養護老人ホームへ入所することとなったため、それまで生活していた自宅(借家)の整理を行いました。
- ・大井和西の自宅にて独居生活をしている80代男性の自宅にて雨漏りが発生したため、業者へ

依頼し応急的な補修を行いました。

6. 金銭管理・財産保全サービス(3件)

判断能力に関わらず、金銭管理及び書類等の保管を適切に行うことが困難であると認められるものと契約し、当事者が自ら行えるように支援を行いました。また、既存の制度やサービスの狭間を埋めるため、柔軟な対応を求められてきており、今後の事業の運営を適正に行っていくために要綱の見直しを行いました。

(1) サービス利用状況

新規利用件数	終了件数	利用中の件数(3月末時点)
2件	1件	3件

(2) 利用者内訳

利用者区分	年代	利用サービス	備考
認知症等高齢者(被虐待者)	90代	書類等預かりサービス	令和5年度新規契約
認知症等高齢者	80代	書類等預かりサービス	令和5年度新規契約
知的障がい者	40代	日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス	

7. ふくしの相談会の実施

県北の権利擁護のネットワークの連携を強化することを目的に、津山市・鏡野町・久米南町と美咲町の4つの社会福祉協議会が共同で開催し、より身近な専門職による相談の機会の提供とワンストップの相談支援に努めました。相談内容は、相続や借金に関わることや、親の介護、障がいについてなどさまざまな相談が寄せられました。今後も継続して取り組み、福祉のニーズの掘り起こしに努めていきます。

【ふくしの相談会開催状況】

区分	ふくしの相談会 inみさき(第24回)	ふくしの相談会 inかがみの(第25回)	ふくしの相談会 inつやま(第26回)
日時	6月21日(水) 13:30~15:30	10月19日(木) 13:30~15:30	1月17日(水) 13:30~15:30
会場	美咲町 中央保健センター	鏡野町中央公民館	津山市総合福祉会館 4階大会議室
相談件数	10件 (内美咲町分 7件)	3件 (内美咲町分 0件)	15件 (内美咲町分 1件)
相談員等スタッフ	18名	20名	32名

年間3回

8. 生活困窮者等支援事業の実施状況

生活に困窮している方やひきこもり状態の方、コロナ禍で失業・減収してしまった方等に対して、本人に寄り添いながら課題を整理し、フォーマル・インフォーマルの支援ネットワークを構築して自立促進を図るよう努めました。また、就職につながった後のアフターフォローや一時的な食料支援、リサイクル家電の提供等、幅広い生活ニーズに対応できるように取り組みました。

(1) 生活困窮者自立相談支援事業(受託)

【年間相談件数】

新規相談	電話相談	来所相談	訪問 (同行支援含む)	支援会議	他機関との 連絡調整	プラン (評価含む)
22件(世帯)	663件	135件	186件	21件	444件	3件

(2) ぶらっとほーむみさき事業

引きこもりや障がいなど、さまざまな要因で社会とのつながりが薄れ、生きづらさを抱えた人が社会に順応していくためには、まずは自分のペースで家の外に出ることから始める必要があります。

本人の「やってみたい」「行ってみたい」という気持ちを大事にし、今年度はカフェに出かけたり、運動をする機会や障がいを持った人とのふれあいを持つ時間を作ることに取り組みました。

さらに自立した生活を送るためには、生活環境を整える必要もあり、地域住民の協力を得て、依頼者宅の清掃等住環境の整備も行いました。

【実施状況】

種類	日時 (場所)	内容	参加人数
居場所支援 (3回)	6月22日(金) (ランカカフェ)	ランチ ひきこもりがちである中学生と一緒に楽しくお話をしながら食事をしました。外へ出るきっかけづくりになりました。	10代男性 1名 社協職員 2名 <u>計 3名</u>
	7月27日(木) (保健センター)	保健センターに来所 ボランティアの方や社協職員ともお話をしながら、夏休みの宿題に取り組みました。	10代男性 1名 ボランティア 1名 社協職員 1名 <u>計 3名</u>
	1月11日(木) (中央体育館)	運動 中央体育館にてバドミントンやバレー、輪投げなど行いました。楽しく身体を動かすことができました。	40代男性 1名 50代男性 1名 社協職員 3名 <u>計 5名</u>
環境整備支援 (8回)	4月11日(火) (本人宅)	台所の運び入れ キッチンを地域の方から寄付をいただき、運び入れと台所の清掃を行いました。	80代男性 1名 社協職員 6名 <u>計 7名</u>
	4月20日(木) (本人宅)	冷蔵庫の設置 使用していた冷蔵庫が破損し、知人から冷蔵庫を譲り受けたが、設置が難しかったため支援を行いました。	50代男性 1名 社協職員 1名 <u>計 2名</u>
	5月9日(火) (本人宅)	引っ越し 自宅が崩壊しそうになっているために、一時的に他の住宅へ引っ越しをしました。	70代男性 1名 社協職員 4名 <u>計 5名</u>
	8月24日(木) (本人宅)	洗濯機の運び入れ 自宅の洗濯機が故障したため、あつたか心バンクにて寄付をいただいた洗濯機を運び入れました。	50代男性 1名 社協職員 3名 <u>計 4名</u>
	1月29日(月) (本人宅)	引っ越し 5月に引っ越しの支援を行った方で、	70代男性 1名 社協職員 4名

		アパートの入居に期限があったため、新たな住宅へ入居するための支援を行いました。	<u>計 5名</u>
	12月15日(金) (本人宅)	自宅の片付け準備 介護保険サービスを導入するために、住環境の整備に向けて訪問しました。	70代女性 1名 70代男性 1名 社協職員 2名 <u>計 4名</u>
	12月27日(水) (本人宅)	※環境整備を3月26日に行う予定でしたが、雨天のため令和6年4月に実施しました。	
	3月15日(金) (本人宅)		
就労準備支援 (3回)	6月23日(金) (保健センター)	就労準備 どのような仕事に就きたいかなどの相談を受けました。	40代女性 1名 社協職員 1名 <u>計 2名</u>
	6月29日(木) (津山市内 ハローワーク)	ハローワークの同行 1人で行くことが不安な方に同行し、一緒にお仕事探しをしました。	40代女性 1名 社協職員 1名 <u>計 2名</u>
	12月12(火) (久米南町内 作業所)	作業所見学の同行 作業所に通いたいというご本人の思いから、見学に同行をしました。 一緒に職員の話の聞いたり、仕事内容を実際に見たりしました。	40代男性 1名 社協職員 1名 <u>計 2名</u>
同行支援 (3回)	6月30日(金) (津山市内の 病院)	病院同行 本人のご家族の容態について、ひとりでは理解が難しいため付き添いをしました。	50代男性 1名 社協職員 1名 <u>計 2名</u>
	12月7日(木) (津山市内の 販売店舗)	携帯ショップの同行 今後の就労準備や安否確認のために携帯電話を購入しました。	50代男性 1名 社協職員 1名 <u>計 2名</u>
	1月19日(金) (真庭市内の スーパー)	買物の同行 ご本人が退院され、介護サービスが導入されるまでの食料を買いにいきました。	70代男性 1名 社協職員 2名 <u>計 3名</u>
その他 (2回)	6月28日(水) (津山市内の 病院)	病院への送迎 本人のご家族が受診できるように付き添いをしました。	10代男性 1名 社協職員 2名 <u>計 3名</u>
	8月7日(月) (松岡博史さん 自宅)	松岡博史さん訪問 障がいを持たれている方の自宅を訪問しました。松岡さんのお話を聞いたり、宿題などをしたりして有意義な時間を過ごすことができました。	10代男性 1名 社協職員 2名 <u>計 3名</u>

実施回数 計19回
延べ参加人数 計57人

【みんなで食堂の開催】※令和5年度新規事業

美咲町には、自宅でまともなご飯を食べることができない子どもや、生活に余裕がなかったり、生きづらさを抱えたり、社会とのつながりが薄れている方がおられます。

美咲町社協では、有志の皆さんで結成された“おむすびさんと仲間たち”のご協力のもと、大人でも子どもでも参加できる「みんなで食堂」を令和5年度は2回開催しました。貸付利用者や生活困窮者、障がいのある方などの関わりもあるので、年齢を問わずみんなで食事をしながら楽しく交流できる場を作りました。会場に行くことが難しい方には、テイクアウトとしてご家族が持ち帰ったり、社協の職員が届けたりしました。

また、美咲町ボランティアセンターの取り組みであるあったか心バンクと連携し、小地域ケア会議やサロンなどにてみんなで食堂の啓発と、野菜の寄付の呼びかけを行い、地域の方からたくさんのお野菜や雑貨などの寄付をいただきました。いただいた野菜などはその日の献立で使い、余った野菜は必要な方に食料支援をしました。

【みんなで食堂開催状況】

日 時	場 所	献 立	参加人数
12月23日(土) 11:00~14:00	打穴中老人憩いの家	・チキンライス ・ポトフ ・鶏のから揚げ ・サラダ ・デザート	大人 19名 子ども 18名 ボランティア7名 社協職員8名 <u>計 52名</u>
2月23日(金) 11:00~14:00	旭保健センター	・ちらし寿司 ・豚汁 ・ちくわの磯部揚げ ・お浸し ・ぜんざい	大人 17名 子ども 19名 ボランティア9名 社協職員4名 <u>計 49名</u>

※令和6年度は、中央・旭・柵原の3会場で順次開催する予定です。

(3)食料支援及びリサイクル事業の取組み

赤い羽根共同募金事業の「あったか心バンク」と連携し、地域の方々の支え合う気持ちをつなげることができるよう、生活に困窮している方を対象に地域の方から寄付していただいた、お米・生活用品・家電製品等の無償提供を行い、自立した生活が送れるように支援しました。

(地域福祉事業 P. 14参照)

(4)赤い羽根 小規模な家屋修繕等の環境整備事業

障がいのある方や生活保護に至る前の状態である生活困窮者の方等、生活に余裕がない世帯に対して、家屋修繕の材料費の一部を負担することで生活環境を整え、住み慣れた自宅で安心して生活できるように支援します。今年度は、岡山県建設労働組合の方と協議を行い、事業の流れについて見直しを行いました。

9. 生活福祉資金貸付事業(県社協の事業)の状況

低所得者・障がい者・高齢者等の生活困窮の世帯に対し、生活福祉資金の貸付・償還等の必要

な援助指導を行うことを通して、その自立を支援することに努めました。また、特例貸付制度利用者については、窓口として受付を行ったのみでその後の関りを持ちにくいという課題があります。そのため、今後の関りを持つきっかけづくりとして「みんなで食堂」の周知や他の事業との連携を図り、相談窓口の周知と相談しやすい雰囲気づくりに努めています。

(1)貸付利用延べ件数【本則】(令和6年3月末現在)

新規相談	新規貸付	償還済	利用中件数
7件	1件	0件	11件

(2)相談内訳【本則】

相談者種別	件数	資金種別	相談件数
高齢者	0件	教育支援資金(教育支援費・就学支度費)	4件
障がい者(世帯)	1件	福祉費(療養費)	1件
低所得者	2件	福祉費(葬祭費)	1件(新規貸付決定)
ひとり親	3件	総合支援資金	1件
その他	1件	緊急小口資金	0件
合計	7件	合計	7件

(3)特例貸付利用延べ件数【特例】(令和5年3月末現在)

緊急小口資金	総合支援資金(初回)	総合支援資金(延長)	総合支援資金(再貸付)
69件	46件	22件	32件

計169件(70世帯)

(4)生活福祉資金相談実績【本則・特例】

	TEL	連絡調整	来所	訪問	他機関同行	会議	同行支援	支援日	食料支援	その他
本則	19	22	10	2	0	0	0	0	0	0
特例	17	19	9	1	0	1	0	0	0	1
合計	36	41	19	3	0	1	0	0	0	1

計 101件

10. 福祉資金貸付事業(美咲町社協実施制度)の状況

生活困窮者を対象に一時的な貸付を行う場合に、生活費等の貸付を行うとともに、生活相談や日常生活援助指導を行いました。また、滞納者には償還指導に努めました。また、「みんなで食堂」の開催の際には通知の送付を行い、参加を促すとともに生活状況の把握に努めました。

(1)貸付・償還状況(令和5年3月末現在)

新規貸付	償還済	利用中の件数
1件	1件	6件

(2)償還指導状況

送付月	送付件数	備考
8月	6件	※督促状送付対象者3名

		※残高確認書送付対象者3名 訪問または、郵送にて通知及び償還指導を行う。
--	--	---

11. 研修・情報交換会への参加

職員の資質向上のため、下記の研修会へ参加しました。

開催日時	令和5年6月27日(火) 14:00～16:00
場所	オンライン方式(ZOOM)
対象	日常生活自立支援事業実施社協職員
内容	『令和5年度 日常生活自立支援事業 第1回 実施社協専門員連絡会議』 基調説明「令和5年度 日常生活自立支援事業方針について」 報告・協議「日常生活自立支援事業における利用料改訂について」 県社協説明「令和4年度事業報告, 令和5年度事業説明 他」

開催日時	令和5年8月4日(金)13:30～15:30
場所	津山中央公民館
対象	津山地域自立支援協議会構成員
内容	『基礎学研修会「精神障害:依存症編」』 依存症の理解 講師 一般財団法人 江原積善会 積善病院 精神保健福祉士 庄司 宏行先生

開催日時	令和5年8月21日(月)13:30～15:30
場所	津山市総合福祉会館 4階 大会議室
対象	相談援助職、民生児童委員、一般市民
内容	『令和5年度 津山市権利擁護セミナー』 「意思決定支援とは?～『最後まで自分らしく』を支えるために～」 講師 美作大学 生活科学部 社会福祉学科 教授 小坂田 稔 氏

開催日時	令和5年9月29日(金)13:30～16:30
場所	岡山家庭裁判所 6階大会議室
対象	岡山弁護士会高齢者・障がい者支援委員会、リーガル・サポート、岡山県社会福祉会権利擁護センター、岡山県内の中核機関、岡山県社会福祉協議会
内容	『令和5年度家事関係機関との連絡協議会』 中核機関との連携(相談対応、苦情対応等) 情報提供

開催日時	令和5年12月1日(金)13:30～16:30
場所	おかやま西川原プラザ 本館2F 大会議室
対象	生活困窮自立支援事業 実姉機関職員
内容	『令和5年度 生活困窮者自立支援 関係機関研修会』 ・基調講義/岡山県立大学教授近藤理恵氏

	<p>「地域で支えるこれからの生活困窮者支援について考える ～ヤングケアラーの事例をもとに～(仮)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践報告 <p>「地域と共に行う早期把握と見守りのネットワークづくりについて(仮)」 社会福祉法人 美咲町社会福祉協議会 地域福祉課長 小林 奈緒 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有・意見交換
--	--

開催日時	令和5年12月18日(月)13:30～16:00
場所	ピュアリティまきび 2階 孔雀
対象	権利擁護支援関係者、生活支援員、市民後見人、民生委員 等
内容	<p>『令和5年度 権利擁護フォーラム「身寄りのない方」の権利擁護からの包括的支援体制のあり方について考える』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講義/川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 准教授 中尾 竜二 氏 ・パネルディスカッション

開催日時	令和5年12月20日(水)13:30～16:00
場所	きらめきプラザ 3階 介護実習室
対象	生活福祉資金担当職員
内容	<p>『令和5年度 第2回生活福祉資金担当者研修会』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援資金のポイントについて ・生活福祉資金貸付事業を含めた生活困窮者支援について

開催日時	令和5年12月26日(火)10:00～16:00
場所	きらめきプラザ 3階 介護実習室
対象	生活福祉資金担当職員
内容	<p>『令和5年度 生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付市町村社協相談支援体制強化推進事業情報交換会』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーニングデータベースの利用方法(機能や使い方の説明) ・スクリーニングデータベースの活用方法(世帯等の情報共有) ・令和6年度における県下一斉取組提案 ・市町村社協の取り組み状況の共有 ・実績報告等の事務処理 等

◎職員体制

- ・地域福祉課職員 社会福祉士 8名(うち1名育休)

Ⅲ. 包括的支援事業

地域包括支援センターは、社会福祉協議会が業務委託を受け運営しています。

地域包括支援センターの主な業務として、包括的支援事業(第1号介護予防支援事業、総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業)及び指定介護予防支援事業を実施しました。

また、地域包括ケアシステムを構築するためには、医療と介護の連携は重要であり、医師会及び行政、社会福祉協議会、関係機関と連携しながら、医療・介護・生活支援等の体制づくり及び施策・事業の展開に努めました。

1. 包括的支援事業

(1) 第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント事業)

①-I 介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)は、介護認定要支援者及び基本チェックリストの記入内容が事業対象の基準に該当した方を対象としています。事業目的は、介護予防及び自立支援です。認定結果や相談に応じて、訪問や面接を通じて状態や生活環境を把握し、本人や家族の希望に応じ、必要な支援に努めました。

①-II 要支援1、2の認定を受けてサービス利用のない人に対して訪問をして生活の実態把握を行い、介護予防及び福祉サービス等が必要と認められる場合は、その支援につながるように努めました。要支援1では、95.7%、要支援2では85.2%の把握ができています。把握できないケースは、入院継続をしているケース等でした。

区 分	認定者数	支援プランなし	実態把握の訪問	訪問率
要支援1	50	23	22	95.7%
要支援2	100	27	23	85.2%

訪問以外では、美咲町社協が支援している小地域ケア会議に出席しました。

小地域ケア会議では、地域の中で気になる高齢者の情報が住民より集まり、その情報をもとに地域包括支援センターとして実態把握を行い、住民の支援につなぐことができています。また、実態把握及び支援の際には、民生委員児童委員と連携を行うことも増えています。

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小地域ケア会議 出席回数	124回	154回	216回

①-III 要介護状態になることを予防するため、特に困難事例については、地域ケア個別会議等で多職種から助言をいただくことで、介護予防ケアプランを作成するうえで、介護予防事業及び社会資源等(通いの場など)の適切なサービスが包括的・効率的に実施されるよう支援に努めました。また、会議での助言をもとに、再度アセスメントを行い、サービス事業所や介護予防教室のスタッフと連携して支援を行いました。令和5年度の事例検討件数は23件でした。

	出席者
地域ケア個別会議	医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士 長寿しあわせ課、地域福祉課社会福祉士、地域包括支援センター長、主任介護支援専門員、介護支援専門員

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域ケア個別 会議出席回数	5回	10回	10回

- ①-IV 短期集中介護予防で教室では、専門職により、健康チェック、筋力の向上を目的とした体操、事業前後のアセスメント評価等を行うことで身体機能向上を目的として事業実施をしています。教室の参加者は、介護保険要支援認定者及び生活機能チェックリストの対象者を訪問し、参加を促しています。令和5年度生活機能チェックリストの実施者のうち、事業対象者としての参加者は10名です。

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
短期集中 介護予防教室	4クール 12人	4クール 13人	4クール 中央会場 30人 柵原会場 12人 合計42人
フォロー教室	9人	5人	17人

- ① -V 通いの場での介護予防取組み状況については、令和5年度は、通いの場に通うことで運動機能等の向上や生活状況の改善に通いの場が繋がっているかを評価しています。令和5年度は、フレイルリスクの測定を実施しています。(令和5年度は、通いの場で1か所実施)

また、通いの場を通じて集団の健康教育として、介護予防の講話(口腔など)や認知症予防の講話を行っています。(令和5年度は、通いの場1か所、サロン2か所実施)通いの場、サロンともに認知症について、予防の講話、口腔体操を実施しています。

(2) 総合相談支援事業

高齢者やその家族の介護の悩みや福祉、健康、介護予防等の困りごとに対して、よりよい解決ができるように、電話や訪問等により相談に応じ、包括支援センターの専門職(主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士等)が連携しながら、総合的な支援に努めました。

(令和5年度相談件数)

区分	相談内容	令和3年	令和4年	令和5年
1	介護相談	810	312	287
2	福祉相談(介護相談を除く障がい、生活困窮等)	117	53	19
3	介護予防	143	19	4
4	認知症	201	122	122
5	健康医療	333	315	130
6	虐待、権利擁護	331	104	47
7	その他	148	157	15
8	高齢者以外(再掲)母子、障がいのある人	53	45	47

- ② - I 電話で相談があった場合は、電話相談のみではなく、積極的に訪問等の手段で実態把握に努めました。また、関係機関から情報収集を行い、状況把握に努めています。支援が必要なケースに、早期に対応できるよう努めました。

- ① - II 高齢者のみならず、家族に問題を抱えた世帯全体に関わりの必要なケースについては地域包括支援センターのみで関わることなく、行政及び関係機関等と連携し、ケース会議をも

ちながら役割を決め支援を行っています。

(3) 権利擁護事業

地域住民、民生委員児童委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない困難な状況にある高齢者が、生活を維持し安心して生活することができるよう、行政、権利擁護センター及び関係機関等と連携し、高齢者の権利擁護に必要な支援に努めました。

③- I 高齢者虐待の防止及び対応

高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るため、長寿しあわせ課、福祉事務所、権利擁護センター及び関係機関等と連携し取り組みました。

令和5年度の虐待通告(新規)については、介護支援専門員が48%を占めています。日頃の関わりの中での観察力、また、虐待に関する高い意識を感じ、通報も速やかにできています。また、警察から直接通告を受けるケースは2件ありました。養護者(虐待者)は、息子、娘が多く、令和5年度では、17件(62.9%)を占めています。また、虐待を受けた高齢者の性別は、女性が20人(74%)と圧倒的に多く、疾患は、認知症が14件(51.9%)と半数以上を占めています。虐待通告後は、速やかに現状把握を行い、コア会議の開催に努め、虐待有無や緊急性の判断、各関係者の支援の役割分担を行い、対応が速やかにできるように努めました。令和5年度は、一時保護したケースは0件となっており、介護保険サービスを利用し距離をとりながら入所したケースも3件ありました。また、養護者自身に精神的疾患や発達障害、アルコール依存症などを抱えているケースは13件(48.1%)と多く、養護者の支援が大きな課題であり、関係機関との連携をはかりながら支援していく必要性を感じます。専門的な助言が必要なケースについては、契約弁護士や権利擁護センター等に相談・連携しながら対応しました。

(虐待相談通告件数)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
虐待相談通告件数	13	11	27
虐待分類			
① 身体的虐待	10	9	20
② 介護・世話の放棄、放任	0	0	4
③ 心理的虐待	2	1	12
④ 経済的虐待	1	1	4
⑤ 性的虐待	0	0	0

* 重複あり

(相談者、通報者)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護保険支援専門員	3	3	13
介護保険サービス事業者等	2	0	4
権利擁護支援センター 地域包括支援センター	1	1	3
警察	1	1	2
行政	2	3	0
民生委員	0	0	0

医療機関	0	0	0
本人	0	1	1
家族・親族	3	1	2
養護者	0	0	1
その他	1	1	1

*重複あり

(養護者(虐待者)について)

高齢者との続柄	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配偶者	2	1	4
息子	5	7	14
娘	3	2	3
婿	1	0	1
嫁	0	0	2
孫	1	1	2
兄	1	0	0
本人(セルフネグレクト)	1	1	0
甥	0	0	1

*重複あり

高齢者虐待防止研修会については、事前に町内の居宅介護支援事業所に聞き取りをして、介護支援専門員が虐待の知識でより深めたいことや具体的に悩んでいることを確認しました。それをもとに、講師の先生と内容を事前に協議し、研修の中で疑問が解決できるように努めました。当日は、33名の参加があり、研修後のアンケートでは、内容の理解については「理解できた」が84%、「やや理解できた」を含めると100%でした。感想としては、「虐待の疑いがあれば通告する」「虐待通告の流れが理解できた」との意見が多く、虐待を自分自身で判断するものではなく市町村が判断するので「虐待疑いがあればまず相談」という意識を高めることができています。

虐待の視点の学び、支援・連携体制の構築の必要性の重要性を感じており、学びの多い研修が開催できたと感じています。

日時	会場	参加者	内容
11月27日(月) 13:30~15:30	中央保健センター	33名	「高齢者虐待を学び考える『地域で暮らし続ける』を支える支援」 講師:川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 准教授 中尾 竜二 氏

③ -II 成年後見制度の活用促進

成年後見制度利用等の相談を受けた場合、権利擁護センター及び長寿しあわせ課、福祉事務所等の関係機関と連携しながら支援に努めました。

令和5年度は、町長申し立ての相談も2件あり、権利擁護センターや長寿しあわせ課と連携しすすめていきました。

また、成年後見制度を幅広く周知させるため、関係機関とともに広報啓発を図りました。

② -III 権利擁護業務アドバイザー会議の開催

今年度からは美咲町社協が行う支援検討委員会の中で協議を行いました。

地域包括支援センターとして、困難事例検討の協議に提出した案件は、4件でした。岡山パブ

リック法律事務所の高木弁護士をはじめ、様々な立場のアドバイザーからの助言をもとに、困難事例の解決に向けた支援や高齢者虐待事例の対応について検討しました。

月 日	提出事例(包括)
5月16日(火)	1件
9月25日(月)	1件
令和6年 1月22日(月)	2件

③ -IV 老人福祉施設への措置支援

緊急に虐待の理由で長寿しあわせ課、福祉事務所と協議のうえ、老人福祉法上の措置が必要と判断したケースはありませんでした。

④ -V 消費者被害防止

令和5年度は、住民に向けての消費者被害研修につきましては、団体等に働きかけをしましたが日程が調整できず開催できていません。しかし、地域からの消費者被害の情報が入ってきた情報に基づき速やかに告知放送で注意喚起を実施し、社協だより、小地域ケア会議で広報及び周知に努めました。

⑤ -VI 機関連携会議(令和5年度初開催)

地域包括「支援センターとして、住民を支援していくためには、関係機関との連携が必須です。主に、権利擁護支援について関係機関との情報及び課題を共有し、連携体制を構築することを目的とします。また、支援を要する住民の早期発見、支援につながるとともに地域住民が安心して生活できる体制を構築します。

関係機関としては、住民に関わる機会が多い美咲警察署、津山圏域消防組合久米南分署、中国銀行久米支店、亀甲郵便局、農協中央支店、行政担当課、社会福祉協議会地域福祉課とします。

日 時	会 場	参加者	内 容
令和6年 2月7日(水) 13:30~15:30	中央保健センター	11名	①地域包括支援センター業務について ②意見交換 関係機関が感じている課題について ③令和6年度 機関連携会議について

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の高齢者が住みなれた地域で安心して生活することができるよう、介護支援専門員の連携及び多種職や関係機関と連携を図り、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、介護支援専門員の後方的支援に努めました。

④ -I 日常的な個別指導・相談

日常的業務に対し、令和5年度はセンター長と主任介護支援専門員が直接事業所を訪問し介護支援専門員が抱えている困難事例について状況を確認しました。通常は、面接や電話などで相談を受けながら指導と支援に努めました。小地域ケア会議での地域の情報を介護支援専門員に伝え、自治会長や民生委員などの地域の支援者との関係を繋いだり、支援者の思いや考えを伝えることで、支援を再度検討しました。また、介護支援専門員が抱える困難事例については、包括支援センターで事例検討をしながら再アセスメントし、今後の方向性については関係機関を含めた会議を開催し検討することで介護支援専門員のみではなく、各関係機関の役割が明確化

し支援のネットワークが広がりました。さらに、家族や支援者である地域住民を含めた会議を開催し、介護支援専門員のケース支援を行いました。

年 度	介護支援専門員からの個別相談	個別ケース会議の実施	事業所の訪問
令和5年度	37件	5件	4カ所

④ -II 事例検討会の実施

介護支援専門員から支援困難事例を提示し、美作大学 堀川涼子教授からアドバイスをいただきました。介護支援専門員が事例を提供し、事例を通して、疾患の理解、アセスメント力をさらに深め、問題解決のための視点を養い、気づきを持ち、支援の組立てを学ぶことにより、介護支援専門員の資質向上及び相談援助技術向上に努めました。

開 催 日	令和5年6月2日(金)	令和5年9月6日(水)	令和6年2月5日(月)
内 容	介護支援専門員が担当している困難事例の検討を実施し、支援の在り方の検討を行う。		
参 加 者	美咲町の要支援・要介護者を担当している介護支援専門員等 美咲町内のケースを担当する町外の介護支援専門員 美咲町保険年金課、社会福祉協議会地域福祉課職員、美咲町地域包括支援センター職員		
参加人数	22名	17名	20名

⑤ -III 介護支援専門員等研修会の実施

介護支援専門員が小地域ケア会議での地域や住民同士の見守り、支えあう仕組みを理解すること、また、地域や多職種との連携や協働することの重要性を学ぶために研修会を実施しました。

日 時	会 場	参加者	内 容
令和6年 3月5日(火) 13:30~15:30	中央保健センター	29名	1. 地域包括ケアシステムと3つの会議 2. 美咲町の高齢者の現状 3. 美咲町の小地域における取組 4. 避難行動要支援者登録・個別避難計画 5. 意見交換、まとめ

⑥ -IV 介護給付適正化研修会参加

長寿しあわせ課が実施する研修会に参加しました。

開催日	令和5年11月20日(月)
開催場所	津山保健センターホール
講演	「ケアプラン点検の基礎的理解」 講師:一般社団法人岡山県介護支援専門員協会 会長 堀部 徹 氏
参加者	1名

開催日	令和6年3月8日(金)
開催場所	美咲町役場本庁舎 2階 会議室
内容	ケアプラン点検
参加者	1名

開催日	令和6年3月14日(木)
開催場所	美咲町役場本庁舎 2階 応接室
内容	令和5年度 ケアプラン点検会 町内介護支援専門員から提出されたケアプラン31事例の点検
参加者	1名

総合相談件数及び主な事業、会議、研修実績一覧

(令和6年3月末現在)

主な事業・会議等	令和4年度	令和5年度
地域包括支援センター運営協議会 委員:公益代表、介護サービス事業者代表、学識経験者、権利擁護 事業関係、被保険者代表 在宅医療・介護連携推進協議会	0回 0回	2回 1回
総合相談支援事業(延べ対応件数)		
・介護相談	312件	287件
・福祉相談(介護相談除く 障がい、生活困窮等)	53件	19件
・介護予防	19件	4件
・認知症	122件	122件
・健康医療	315件	130件
・虐待、権利擁護	104件	47件
・その他	157件	15件
・高齢者以外(再掲)母子、障がいのある人	45件	47件
合計	1,127件	671件
虐待・権利擁護対応内訳(延べ対応件数)		
・成年後見制度の活用促進	2件	4件
・日常生活自立支援事業利用の支援	2件	4件
・高齢者虐待の相談及び対応(電話対応等含む)	85件	223件
(老人福祉施設等措置の支援)	5件	0件
(契約入所移行等の支援)	19件	2件
(介護支援専門員等への支援、その他の支援)	7件	2件
・消費者被害防止対応	1件	0件
・その他の権利擁護支援		21件
合計	121件	256件
高齢者虐待コアメンバー会議	17回	31回
ケース会議(開催実数)	25回	35回
支援検討委員会(権利擁護)	6回	6回
(延べ件数)	6件	4件
高齢者虐待防止研修会	1回	1回
消費者被害防止研修会	1回	0回
地域包括ケア会議	0回	3回
地域ケア会議	1回	1回
小地域ケア会議(延べ参加回数)	154回	216回
包括的・継続的マネジメント事業		
介護支援専門員に対する個別支援(延べ件数)	60件	39件
介護支援専門員事例検討会 堀川 氏	3回	3回

介護支援専門員研修会 美咲町介護給付適正化事業 堀部 氏 実態把握訪問	1回 1回 121件	1回 1回 145件
---	------------------	------------------

2. 事業・会議等

(1) 地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センター運営協議会は2回実施でした。地域包括支援センターの運営における事業の実施状況や事業計画等について、協議会メンバーが一同に会し、それぞれの活動の枠を超えて地域の課題を共有し、解決に向けた話し合いや連絡調整、連携・協力が行われる場となっています。地域の課題解決を推進する役割を担っています。

(2) 在宅医療・介護連携事業の推進（行政主体）

在宅医療・介護連携協議会については1回の開催でした。今回は、「美咲町におけるACPノートの活用について」を中心に協議しました。協議会を開催する前には、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所介護支援専門員、介護施設職員、訪問看護師、行政職員を対象にグループワークを実施しました。

【在宅医療・介護連携推進協議会 グループワーク】

日時	会場	参加者	内容
令和5年 12月13日(水) 18:00～19:30	中央保健 センター	訪看1名 居宅9名 施設2名 行政6名 社協1名 地域福祉 1名 包括3名	①講義「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について」 講師: 亀乃甲診療所 院長 岩本博通 先生 ②グループワーク

【在宅医療・介護連携推進協議会】

日時	会場	参加者	内容
令和6年 2月13日(火) 18:30～19:30	中央保健 センター	委員9名 行政4名 地域福祉 1名 包括2名	美咲町におけるACPノート活用について

協議事項について必要な検討を行うため、医療関係者及び行政関係課・地域包括支援センター・関係機関等で部会を設置し、医療介護連携、認知症対策、生活支援体制等について協議・検討を行いました。

次の項目を重点目標として推進しました。

- i 地域の医療・介護資源の把握
- ii 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- iii 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- iv 医療・介護関係者の情報共有の支援
- v 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- vi 医療・介護関係者の研修
- vii 地域住民への普及啓発
- viii 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

【在宅医療・介護連携部会の内容及び参加者数】

月 日	部会内容	地域包括支援センター参加者数
令和5年5月	① 新型コロナウイルス5類移行について ② 令和4年度の振り返りと令和5年度の事業計画について	3人
7月	① 人生会議(ACP)について ② 透析患者の通院の問題について	3人
8月	① 人生会議(ACP)について ② 認知症事業について ③ 美咲町生活支援マップについて	3人
9月	①人生会議(ACP)について ②在宅医療・介護連携推進協議会の開催について	2人
10月	①人生会議(ACP)について ②在宅医療・介護連携推進協議会の開催について ③認知症月間について	3人
11月	①人生会議(ACP)について ②在宅医療・介護連携推進協議会グループワークの開催について ④ 在宅医療・介護連携推進協議会の開催について	3人
12月	①在宅医療・介護連携推進協議会グループワークの開催について ②在宅医療・介護連携推進協議会の開催について	2人
令和6年 1月	①在宅医療・介護連携推進協議会グループワークの開催結果と改訂について ②在宅医療・介護連携推進協議会の開催について ③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取り組みについて	2人
令和6年 2月	①在宅医療・介護連携推進協議会の開催について	2人
令和6年 3月	①令和5年度在宅医療・介護連携推進協議会で行った事業の振り返り	3人

(3) 地域ケア会議等の充実

③-I 地域ケア会議(事前準備としての意見交換会)の開催

日常生活圏域(中学校区)で、自治会長、民生委員児童委員、小地域ケア会議の構成員、行政職員、社会福祉協議会職員等から構成し、地域課題等について協議してきました。

令和5年度は、「子どもから高齢者までの幅広い世代が地域全体で見守り・つながりができる地域づくり」をテーマに「防災の視点を含めた地域の見守り・つながりの取り組み」について共有する機会として開催いたしました。

第1回地域ケア会議

開催日	令和5年11月1日 旭地域	令和5年11月9日 中央地域	令和5年11月7日 柵原地域 (北和気・南和気)	令和5年11月17日 柵原地域 (吉岡・本庁・飯岡)
参加人数	39名	46名	37名	42名
内容	①3つのケア会議について ②令和5年度 第1回包括ケア会議の報告 ③美咲町の小地域ケア会議における取り組みについて ④令和5年度の取り組みについて ・見守りマップの取り組みについて ・避難行動要支援者登録、避難行動個別計画について ⑤ワーク「防災の視点を入れた見守りマップの作成」			
参加者	自治会長、民生委員児童委員、小地域ケア会議の構成員、行政職員、社会福祉協議会職員等			

③-Ⅱ 地域ケア個別会議の開催

介護認定要支援者及び事業対象者の自立支援に資する計画となるよう地域包括支援センター職員が作成する個別ケースのアセスメントシートとサービス計画を提示し、多職種(医師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士等)による専門的視点から、支援目標及び福祉サービス・社会資源等について検討を行いました。

③-Ⅲ 小地域ケア会議への参加

社会福祉協議会が開催支援する小地域ケア会議(81自治会の内、72自治会)に参加し、地域課題及び個別課題の支援等について、情報共有及び検討を行いました。

小地域ケア会議で把握した個別課題及び地域の課題等については地域ケア会議へと展開し、その課題解決に向けて情報共有・検討を行いました。

(4) 地域包括ケア会議(行政主体)への参画

令和5年度は、地域包括ケア会議は3回開催しました。

地域包括ケア会議は、住み慣れた地域で自立した生活を最期まで送ることができるように、高齢者・障がい者・子ども等、全ての世代で支え・支えられるまちづくりが求められており、介護・育児・障がい・生活困窮などに対応した包括的な生活支援を切れ目なく提供できる体制(地域包括ケアシステム)づくりを推進するため、行政及び地域包括支援センター、社会福祉協議会、関係機関とともに地域課題及び展開している事業等について共有・協議する場です。

	第1回	第2回	第3回
日時	7月20日(木) 13:00~15:00	11月28日(火) 13:00~15:00	3月28日(木) 10:00~12:00

内容	協議事項 ①地域包括ケアシステムについて ②地域ケア会議からの5つの提言について ③個別避難計画について	報告事項 ①前回会議の持ち帰り事項について 協議事項 ①今年度の地域ケア会議から考える課題について ・小地域ケア会議の状況 ・地域ケア会議の取り組みについて ③そこから見える課題について	報告事項 ①在宅医療・介護連携推進協議会からの報告 【美咲町版ACPの取り組みについて】 ②地域ケア会議から見えてきた課題について 協議事項 ①支えあいの強化の取り組みについて ②避難行動要支援者登録、個別計画の活用についての課題
----	---	---	---

(5) 認知症総合支援事業（行政主体）

認知症の人や家族が安心して暮らせる優しいまちづくりを目指し、認知症の状態に応じた適切な医療や介護サービスが提供される仕組みづくり及び認知症の人や家族に対する総合的な支援に努めました。

⑤-I 認知症事業連絡会への参画

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、行政及び関係機関、団体等と連携するとともに、認知症事業についての情報共有及び検討を行い、認知症に関わる事業や啓発活動を推進しました。

	第1回	第2回	第3回
日時	7月31日(月) 13:30～15:30	9月5日(火) 13:30～15:30	2月14日(水) 13:30～15:30
内容	①令和5年度事業について ・オレンジカフェについて ・認知症啓発月間について ・認知症見守り声掛け模擬訓練について ・認知症サポーター養成講座について ・チームオレンジについて	①(3地域合同)オレンジカフェについて ②認知症安心ガイドについて ③認知症見守り声掛け模擬訓練について	①令和5年度認知症事業について ②令和6年度認知症事業について

⑤-II 認知症啓発活動の推進支援

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることを目的に、啓発活動に取り組みました。

また、地域住民一人ひとりが地域で何ができるかを考え、できることから行動に移すきっかけづくりを推進しました。

○9月アルツハイマー月間に合わせて啓発活動

認知症啓発のチラシを作成し、全戸配布を行いました。また、併せて認知症川柳の募集も行いました。

⑤-Ⅲ 認知症カフェ(オレンジカフェ)の推進支援

認知症の人やその家族・地域住民・専門職等、誰もが住み慣れた地域でいつまでもその人らしい生活ができるように、仲間づくりや生きがい支援、介護する家族の負担軽減、認知症や介護の相談支援の場として、オレンジカフェの設置運営支援に努めました。

令和4年度より、美咲町活動拠点である「ミサキアエル」で開催しました。

令和5年度は、3地域合同カフェの開催を行い、認知症の方や家族、認知症サポーターの参加にとどまらず地域の方を含めた交流ができており、認知症の理解が進んでいます。

年度	開催回数	参加者数(延べ)	スタッフ参加者数	認知症サポーターの参加
令和4年度	21回	199名	81名	3名
令和5年度	34回	372名	169名	7名
令和5年度 合同カフェ	1回	49名		

⑤-Ⅳ 認知症サポーター養成講座の開催

認知症地域支援推進員等による地域支援体制の構築とともに、キャラバンメイト(認知症サポーター養成講座講師)が地域や圏域・職域等において、地域住民に認知症の正しい理解を広めるため、認知症サポーター養成講座を開催しました。

開催日	団体等	受講者数
令和5年7月10日	越尾後サロン(包括支援センターが主)	8名
令和5年7月11日	美咲ももたろうクラブ(長寿しあわせ課が主)	8名

⑤-Ⅴ 認知症初期集中支援チームによる支援

認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族へ早期診断・早期対応、日常生活上の助言等の支援に努めました。

令和5年度は、11名の支援を実施し、専門医の受診が1名、介護サービス利用(予定を含み)が4名、継続支援が6名です。

⑤-Ⅵ 認知症見守り声掛け模擬訓練の実施

認知症の理解を地域で広めるために認知症見守り声掛け訓練を実施しました。令和5年度は、柵原支部民生委員児童委員より認知症についての相談があり、その相談をきっかけに認知症見守り声掛け訓練を実施しました。

日時	対象	内容	参加人数
令和5年10月23日	柵原支部民生委員会	① 認知症サポーター養成講座後編 ② 見守り声掛け模擬訓練実施 ③ 見守り声掛け模擬訓練の振り返り グループワーク、発表、まとめ	22名

(6) みまさか認知症疾患医療センター・認知症疾患医療連絡協議会への参加

医療と介護を中心とした臨床倫理的課題の克服を目指し、尊厳や人権を重視した支援が行えるよう、みまさか認知症疾患医療センター(積善病院)が開催する連絡協議会及び研修会等に参加し、相談支援の質の向上を図りました。

⑥-I 認知症臨床倫理研究会

日時	会場	参加者	内容
6月3日(土) 9:00~16:00	美作保健所 保健センター ホール	包括職員 8名 居宅事業所 4名	【講義】①医療と介護をつなぎ、病院と施設・在宅をつなぐ ②4分割法をもちいて情報を整理する ③倫理的ジレンマに気づく
10月8日(日) 9:00~16:00	美作保健所 保健センター ホール	包括職員 3名	【講義】①臨床倫理の基礎 講師:日本臨床倫理学副理事長 稲葉一人先生 ②込み入った事例の検討 ③臨床倫理コンサルテーション ④事例検討
令和6年 2月3日(土) 9:00~16:00	美作保健所 保健センター ホール	包括職員 5名 居宅事業所 1名	①基礎から学ぶ臨床倫理 講師:日本臨床倫理学副理事長 稲葉一人先生 ②倫理コンサルテーション ③話題の提供 ④認知症基本法により何がどう変わるか

⑥-II 美作県民局圏域認知症疾患医療連携協議会 (年1回 参加)

開催日	内容	参加者
令和5年11月28日	①令和4年度みまさか認知症疾患医療センター実績報告と令和5年度の取り組みについて ②共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ~ 今後の認知症施策の方向性~ 岡山県美作保健所 光井 聡 所長 ③岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画について 美作県民局健康福祉部健康福祉課 岡田正幸課長 ④県北で認知症予防に取り組むために ~早期からの気づきと診断後の本人支援を考える~ ⑤審議事項 ・人材育成事業 ・みまさか認知症疾患医療センター令和6年度取り組み	包括2名

⑥-III 定例研修会 (年12回 ZOOMにて参加)

3. 指定介護予防支援事業

介護保険における予防給付の対象となる要支援者及び事業対象者が、介護予防サービス等の

適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況と置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当計画に基づく指定介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等の関係機関と連絡調整を行いました。

サービス計画を作成する際、困難と思える事例については、多職種で構成する地域ケア個別会議でアドバイスを受ける等、適切なサービス計画を作成するよう努めました。

① 介護予防支援サービス計画作成実績

①-I 介護予防支援サービス計画作成実績(前年度実績件数)

(単位:件数)

審査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	124(126)	122(124)	122(124)	138(140)	134(137)	133(136)
(委託)	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)
審査月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	144(146)	146(147)	140(141)	141(142)	146(147)	139(139)
(委託)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)

①-II 介護予防支援サービス相談支援(前年度実績件数)

(R4年度)

	実績
訪問・面接	1,865(1,636)件
電話	628(662)件
サービス担当者会議	211(168)件

◎職員体制

行政から2名派遣、社会福祉協議会の専門職等の6名の計8名で業務を遂行していましたが、社会福祉士が退職したため、計7名で業務を行いました。

- ・センター長 1名(行政職員)
- ・保健師 1名(行政職員)
- ・社会福祉士 1名(令和5年9月20日にて退職)
- ・社会福祉主事 1名
- ・主任介護支援専門員 1名
- ・介護支援専門員等 3名

IV. 介護保険事業

美咲町で暮らす誰もが、安心して暮らし続けることができるよう、通所介護・訪問介護・居宅介護事業・地域密着型特別養護老人ホーム事業の運営に積極的に取り組みました。

1.通所介護事業(デイサービス事業)

日常生活に支援が必要な人、要介護状態にある人が、できる限り住み慣れた地域・我が家において、安心して日常生活を過ごすことができるよう、介護保険法による通所介護事業を積極的に取り組みました。また、利用者の心身の状況に応じた通所介護計画書を作成し、多職種との連携を図り、利用者支援に努めました。

(事業実施事業所)

(1)美咲町中央ふれあいセンター

①事業実施の概要

- ・利用定員 40人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く。)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 常勤職員5名、非常勤職員12名
 管理者1名(兼務)、生活相談員3名(兼務3名)、看護職員2名(兼務2名)、
 機能訓練指導員2名(兼務2名)、介護職員14名(兼務7名)、
 介護助手1名、調理員3名(兼務2名)、運転職員1名

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。 ※稼働率 92.8%

年月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要介護 I～II	要介護 III～IV	1日 平均
R5.4	25日	904人	90人(10.0%)	555人(61.4%)	259人(28.6%)	36.2人
R5.5	27日	1,035人	96人(9.3%)	634人(61.3%)	305人(29.4%)	38.3人
R5.6	26日	990人	108人(10.9%)	575人(58.1%)	307人(31.0%)	38.1人
R5.7	26日	961人	122人(12.7%)	562人(58.5%)	277人(28.8%)	37.0人
R5.8	27日	971人	129人(13.3%)	571人(58.8%)	271人(27.9%)	36.0人
R5.9	26日	981人	127人(12.9%)	595人(60.7%)	259人(26.4%)	37.7人
R5.10	26日	953人	124人(13.0%)	536人(56.2%)	293人(30.8%)	36.7人
R5.11	26日	956人	120人(12.6%)	519人(54.3%)	317人(33.1%)	36.8人
R5.12	24日	905人	109人(12.0%)	500人(55.3%)	296人(32.7%)	37.7人
R6.1	24日	861人	119人(13.8%)	459人(53.3%)	283人(32.9%)	35.9人
R6.2	25日	939人	143人(15.2%)	496人(52.8%)	300人(32.0%)	37.6人
R6.3	26日	976人	146人(15.0%)	509人(52.2%)	321人(32.9%)	37.5人
合計	308日	11,432人	1,433人 (12.5%)	6,511人 (57.0%)	3,488人 (30.5%)	37.1人

(2)美咲町柵原デイサービスセンターかしのき荘

①事業実施の概要

- ・利用定員 25人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く。)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 常勤職員4名、非常勤職員7名
管理者1名(兼務)、生活相談員2名(兼務2名)、看護職員2名(兼務2名)、
機能訓練指導員2名(兼務2名)、介護職員9名(兼務4名)、
調理員2名

②事業実施状況

i) 介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。 ※稼働率 73.0%

年月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅳ	1日 平均
R5. 4	26日	475人	32人(6.8%)	288人(60.6%)	155人(32.6%)	18.3人
R5. 5	27日	511人	37人(7.2%)	276人(54.0%)	198人(38.8%)	18.9人
R5. 6	26日	461人	35人(7.6%)	240人(52.1%)	186人(40.3%)	17.7人
R5. 7	26日	474人	46人(9.7%)	241人(50.8%)	187人(39.5%)	18.2人
R5. 8	27日	490人	47人(9.6%)	257人(52.4%)	186人(38.0%)	18.1人
R5. 9	26日	491人	51人(10.4%)	249人(50.7%)	191人(38.9%)	18.9人
R5. 10	26日	506人	53人(10.5%)	247人(48.8%)	206人(40.7%)	19.5人
R5. 11	26日	462人	49人(10.6%)	232人(50.2%)	181人(39.2%)	17.8人
R5. 12	24日	407人	42人(10.3%)	213人(52.3%)	152人(37.4%)	17.0人
R6. 1	24日	423人	40人(9.4%)	219人(51.8%)	164人(38.8%)	17.6人
R6. 2	25日	463人	44人(9.5%)	250人(54.0%)	169人(36.5%)	18.5人
R6. 3	26日	479人	48人(10.0%)	260人(54.3%)	171人(35.7%)	18.4人
合計	309日	5,642人	524人 (9.3%)	2,972人 (52.7%)	2,146人 (38.0%)	18.3人

(3)美咲町福祉の里 あさひが丘

①事業実施の概要

- ・利用定員 25人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く。)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 常勤職員4名、非常勤職員7名
 管理者1名(兼務)、生活相談員2名(兼務2名)、看護職員2名(兼務2名)、
 機能訓練指導員1名(兼務1名)、介護職員6名(兼務3名)、介護助手1名、
 調理員1名(兼務1名)、運転職員2名

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。 ※稼働率 64.5%

年月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要介護 I～II	要介護 III～IV	1日 平均
R5.4	26日	418人	84人(20.1%)	238人(56.9%)	96人(23.0%)	16.1人
R5.5	27日	441人	85人(19.3%)	254人(57.6%)	102人(23.1%)	16.3人
R5.6	17日	283人	60人(21.2%)	168人(59.4%)	55人(19.4%)	16.6人
R5.7	26日	409人	68人(16.6%)	225人(55.0%)	116人(28.4%)	15.7人
R5.8	22日	310人	60人(19.4%)	177人(57.1%)	73人(23.5%)	14.1人
R5.9	26日	428人	77人(18.0%)	226人(52.8%)	125人(29.2%)	16.5人
R5.10	26日	411人	74人(18.0%)	218人(53.0%)	119人(29.0%)	15.8人
R5.11	26日	421人	73人(17.3%)	231人(54.9%)	117人(27.8%)	16.2人
R5.12	24日	374人	71人(19.0%)	215人(57.5%)	88人(23.5%)	15.6人
R6.1	24日	310人	56人(18.0%)	171人(55.2%)	83人(26.8%)	13.5人
R6.2	25日	427人	64人(15.0%)	230人(53.9%)	133人(31.1%)	20.3人
R6.3	26日	447人	67人(15.0%)	268人(60.0%)	112人(25.0%)	17.2人
合計	295日	4,679人	839人 (17.9%)	2,621人 (56.0%)	1,219人 (26.1%)	15.9人

2.訪問介護事業(ホームヘルプ事業)

日常生活に支援が必要な人、要介護状態にある人が、できる限り住み慣れた地域・我が家において、安心して日常生活を過ごすことができるよう、介護保険による訪問介護事業に積極的に取り組みました。また、美咲町からの委託事業である「生活管理指導事業」にも取り組みました。さらに障害者総合支援事業による障がい者の訪問介護サービス事業にも積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

(1)ヘルパーステーション美咲

①事業実施の概要

- ・営業日 月曜日～日曜日
- ・営業時間 午前8時～午後6時30分
- ・職員体制 常勤職員4名、非常勤職員6名
 管理者1名(兼務)、管理者代理1名(兼務)、サービス提供責任者3名(兼務3名)、
 訪問介護職員10名(兼務3名)

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年月	営業日	利用件数 合計	現行相当	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅳ	1日 平均
R5.4	30日	710件	65件(9.2%)	309件(43.5%)	336件(47.3%)	23.7件
R5.5	31日	753件	63件(8.4%)	365件(48.5%)	325件(43.2%)	24.3件
R5.6	30日	779件	65件(8.3%)	399件(51.2%)	315件(40.4%)	26.0件
R5.7	31日	791件	67件(8.5%)	409件(51.7%)	315件(39.8%)	25.5件
R5.8	31日	754件	72件(9.5%)	388件(51.5%)	294件(39.0%)	24.3件
R5.9	30日	720件	85件(11.8%)	341件(47.4%)	294件(40.8%)	24.0件
R5.10	31日	725件	86件(11.9%)	368件(50.8%)	271件(37.4%)	23.4件
R5.11	30日	747件	94件(12.6%)	389件(52.1%)	264件(35.3%)	24.9件
R5.12	30日	655件	82件(12.5%)	320件(48.9%)	253件(38.6%)	21.8件
R6.1	28日	617件	86件(13.9%)	286件(46.4%)	245件(39.7%)	22.0件
R6.2	29日	641件	87件(13.6%)	266件(41.5%)	288件(44.9%)	22.1件
R6.3	31日	709件	91件(12.8%)	288件(40.6%)	330件(46.5%)	22.9件
合計	362日	8,601人	943人 (11.0%)	4,128人 (48.0%)	3,530人 (41.0%)	23.8件

ii)障害者総合支援事業

障がい者への訪問介護サービスとして、次のとおり、サービスを実施しました。

事業名	営業日	利用件数
障害者総合支援	306日	434件

3.居宅介護支援事業(ケアマネジメント事業)

介護保険によるサービスが適切に利用でき、在宅での生活を支援していくため、居宅介護支援事業に積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

(1)中央居宅介護支援事業所 常勤職員6名

管理者1名(兼務)、介護支援専門員6名(兼務1名)

①事業実施の状況

i)介護保険事業

事業所	利用件数	要介護 I～II	要介護 III～V	要介護 月平均
中央居宅介護支援事業所	2,747件	1,865件	882件	190.8件

ii)訪問調査・予防プランの実施

町からの委託を受け、介護保険の要介護認定のための訪問調査等にも積極的に取り組みました。

・訪問調査件数 175件(中央 92件、柵原 52件、旭 31件)

・予防プラン件数 19件(中央 19件)

4.施設サービス事業(地域密着型特養事業)

住み慣れた地域で、可能な限り安心して日常生活が送れるよう、地域密着型特別養護老人ホームの運営に積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

(1)地域密着型特別養護老人ホーム あさひが丘

①事業実施の概要

・長期入所利用定員 25名

・短期入所利用定員 4名(併設、空床)

・居室体制 個室 9室 2人部屋 10室

・職員体制 常勤職員13名、非常勤職員10名

施設長1名、生活相談員3名(兼務3名)、看護職員2名(兼務2名)、機能訓練指導員2名(兼務2名)、介護支援専門員1名(兼務1名)、介護職員13名(兼務3名)、介護助手3名、栄養士1名、調理職員1名、宿直職員3名

②事業実施の状況

形態	延べ利用者数	要介護I	要介護II	要介護III	要介護IV	要介護V
長期入所	8,705人	—	—	2,529人	3,849人	2,327人
短期入所	433人	34人	11人	191人	92人	105人

○長期入所

年間稼働率 95.1%

1日平均人数 23.8人

平均人数対前年比 97.5%

○短期入所

年間稼働率 29.6%

1日平均人数 1.2人

平均人数対前年比 95.4%